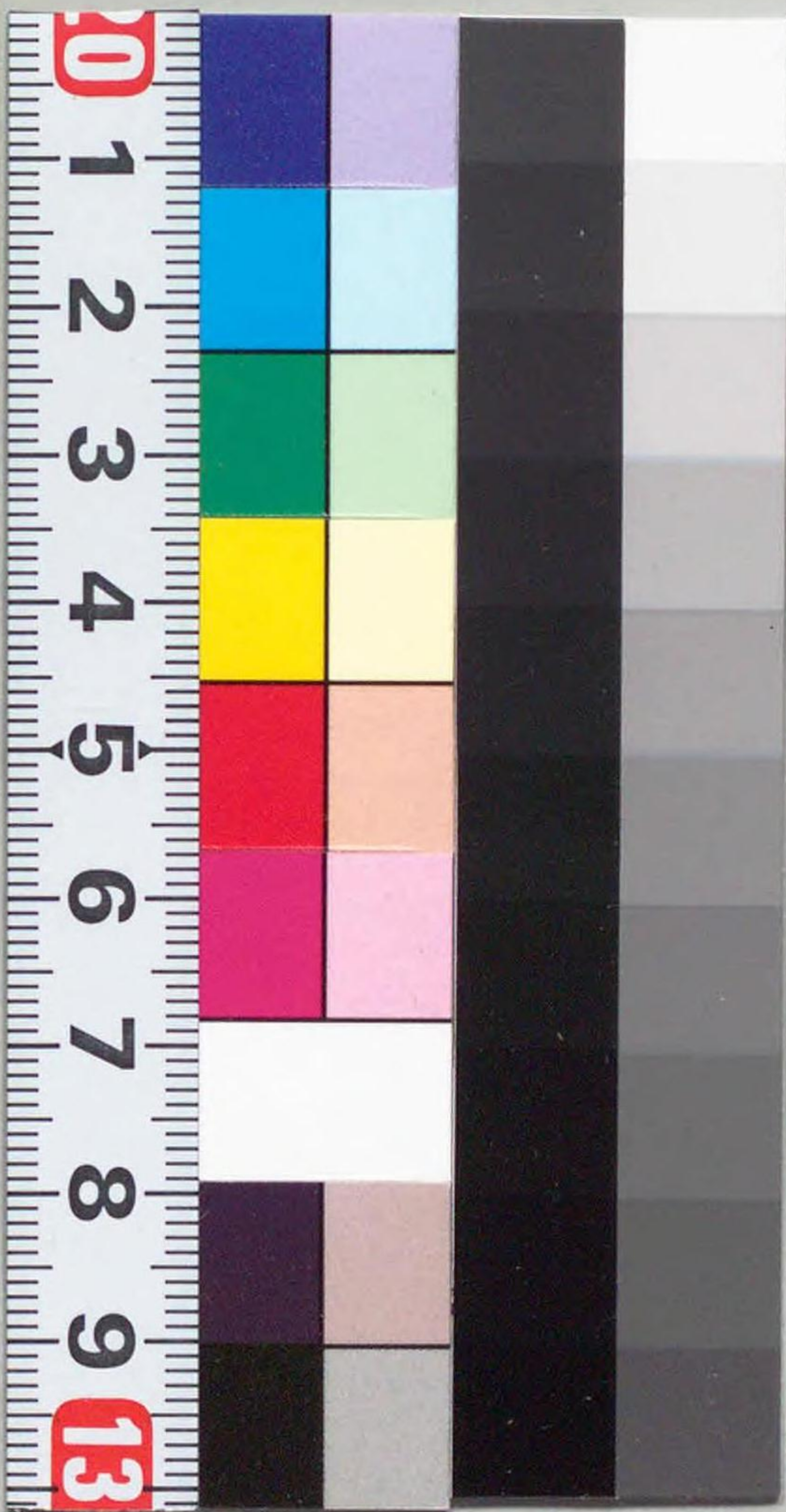


CZ  
492  
24

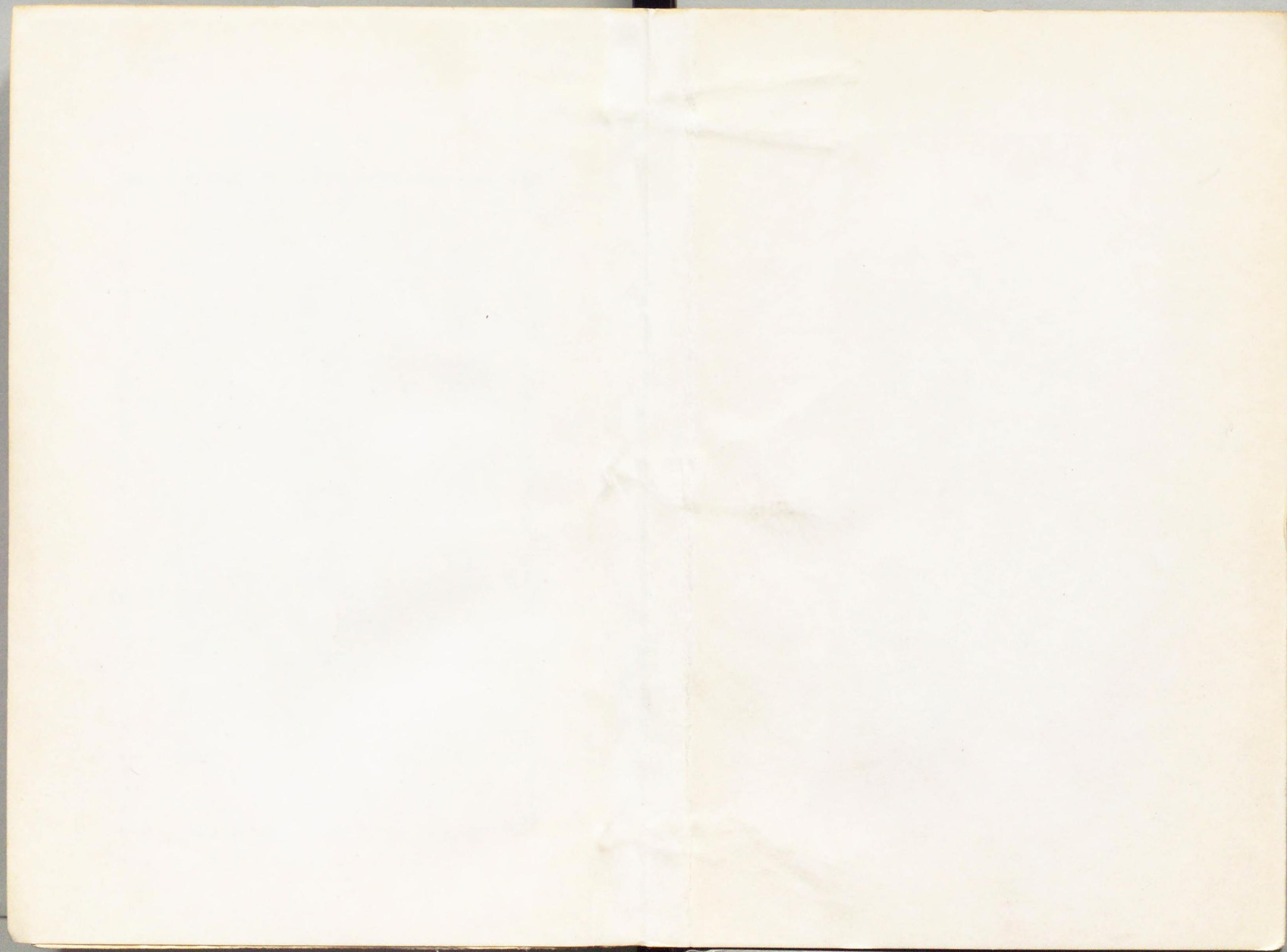


80W01236

禁電子式複写

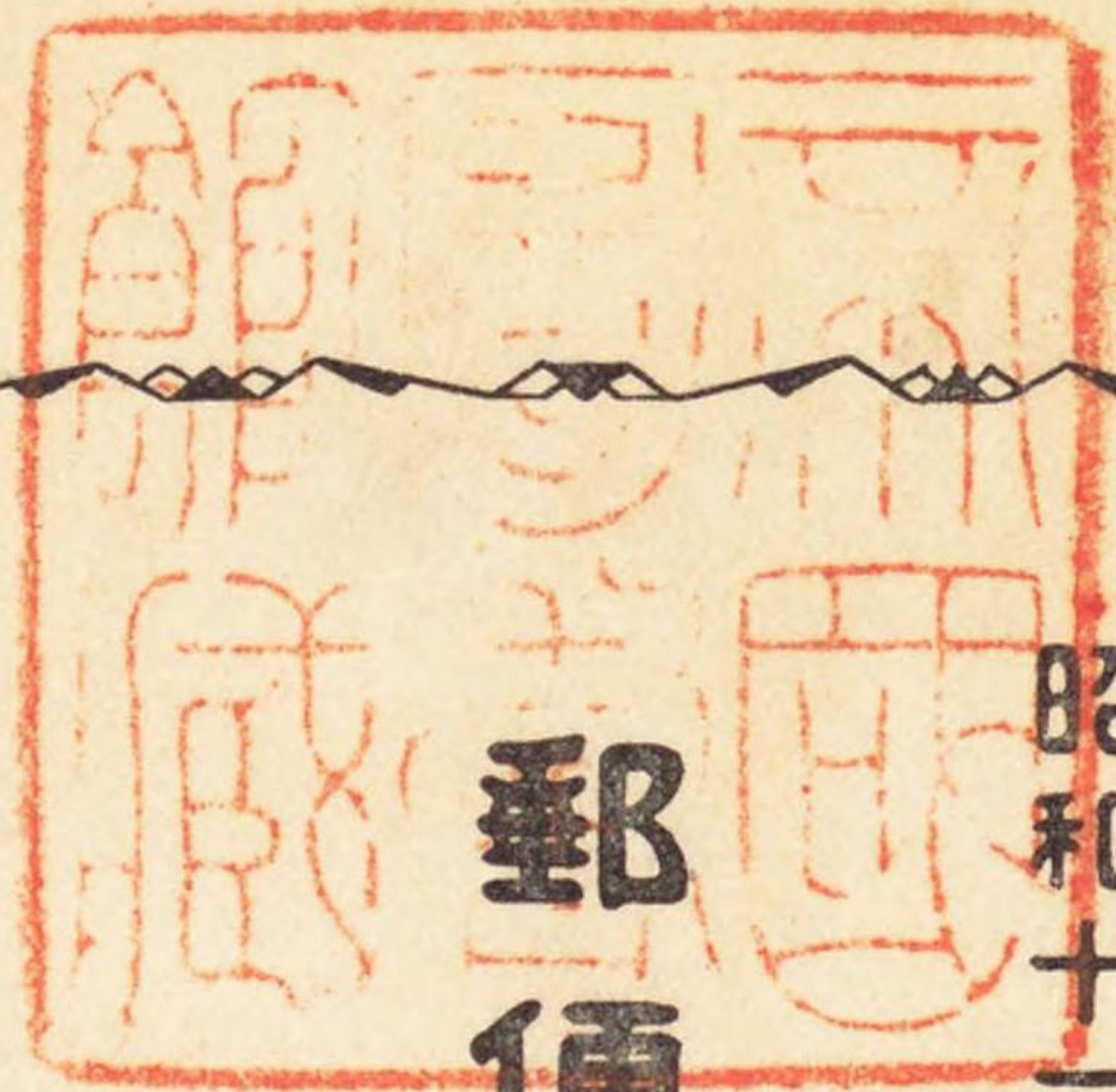








シラ346



昭和十一年四月發行

郵便例規集

郵務局業務課





CZ  
492  
24



693.1

80W01236

凡例

- 一、本書ハ業務課監督係所管事務ニ關スル現行通牒、指令、回答及内規類ヲ蒐録シタルモノトス
- 一、通牒類ハ其ノ要領ノミヲ摘記シ其ノ下部括弧内ノ文字ハ發送年月、番號及宛局名ヲ示スモノトス

凡例



◎加藤内閣總理大臣訓諭

大正十三年八月十一日

現下法令完備ノ狀ヲ見ルニ綱舉リ目張リ細大漏ラスナク宛然一大法網ヲ成ス殊ニ個人又ハ團體ノ行爲ニ互リテ認可許可ヲ受ケシムル等制限的ノ事項亦甚少カラス其ノ法令制定ノ所以ヲ尋ヌレハ必シモ責ムヘキ所ナシト雖一面一般公衆ヨリ見レハ頗ル繁瑣ニ堪ヘサルモノアリ法制定其ノモノニ惡意ナシトスルモ其ノ結果ニ至リテハ善意ノ苛政タルノ感ナシトセス是レ正ニ法治政治ニ伴フ一種ノ弊竇ト謂ハサルヘカラス今行政ノ釐革ヲ爲シ一面ニ於テ執務ノ能率ヲ増進スルニ就テハ此ノ法網ヲ整理シ而シテ一般公衆ノ利便ヲ圖ルヘキハ行政官ノ特ニ意ヲ用フヘキ所ナリ次ニ今日ノ行政組織ヲ觀ルニ各所管毎ニ部アリ局アリ更ニ課アリ係アリ局課愈々分歧シテ組織愈々密ヲ極メ宛然一個ノ「ピラミット」狀ヲ成セリ是ヲ以テ一般公衆ハ所管ヲ尋ネテ右往左往大ニ惑ヒ不便ヲ感スルコト尠カラズ是レ亦今日ノ行政組織ニ伴フ弊竇ノ一ナリ斯ノ如キ部内ノ分課ハ成ルヘク之ヲ少カラシメ又上級ニ在ル者勉メテ執務ノ中心ト爲ルニ於テハ自ラ處務ノ刷新簡捷ニ資シ一般公衆ノ利便ヲ増進スルコトヲ得ヘシ其ノ他執務ノ能率ヲ増進スル手段方法ハ多々アルヘシト雖今左ニ數箇ヲ擧ク宜ク之カ實現ヲ期スヘシ

一、執務ノ方法ハ上ヨリ下ヘ移シ主トシテ局長又ハ課長等高等官自ラ執務スル方針ヲ採ルコト（局長中心主義）



說明

從來執務ノ方法ハ先ツ判任官之ヲ起案シ高等官ニ差出スノ例ナルモ向後ハ部局ノ長先ツ書類ヲ査閲シ特ニ上司ノ指揮ヲ仰クヘキ場合ヲ除キ處理ノ方針ヲ定メテ部下ノ高等官ニ起案ヲ命シ高等官亦進ンテ自ラ執筆起案シ之ト共ニ定例アリテ別ニ臨機ノ裁斷ヲ要セサルカ如キ事項ニ就テハ主務ノ高等官限り之ヲ處理スルコトヲ得シメ以テ事務ノ簡敏ヲ圖ルヘシ

二、官吏ハ執務ニ當リテ常ニ改善ノ工夫ヲ凝ラシ煩瑣ヲ去リテ簡易ニ就カシムルコト（處務簡捷主義）

說明

官吏ハ常ニ執務ノ方法及設備ニ就キテ改善ノ工夫ヲ凝ラシ煩瑣ヲ除キテ事務ノ刷新簡捷ヲ圖ルヘシ之カ爲必要アルトキハ相當獎勵ノ方法ヲ講スルモノトス

三、執務ニ當リテ機械ノ應用ヲ圖ルコト（處務機械化主義）

說明

執務ニ當リテハ勉メテ簡便ノ方法ヲ採用シ例ヘハ成ルヘク洋紙ニ「ペン」書キスルノ外或ハ「タイプライター」等機械ヲ用キテ人力ヲ節約シ以テ事務ノ能率ヲ擧クヘシ

四、處務ニ當リテハ速ニ裁斷シ裁斷シタルモノハ即時決行シ以テ事務ノ停滯ヲ除クコト（速斷即行主義）

斷即行主義

說明

執務ニ當リテハ常ニ處理ヲ明斷果決ニシ以テ事務ノ進行ヲ圖リ時ニ未決書類ヲ調査シテ事務ノ停滯ナカラシムヘシ

五、勉メテ形式ニ拘泥スルヲ排斥シ専ラ實質ニ就キ裁斷スルコト（實質尊重主義）

說明

處務ニ當リテハ徒ニ書類ノ形式ニ拘泥スルコトナク事ノ内容ニ亘リ能ク適法適當ナルヤヲ精査シ實質ニ就キ裁斷スヘシ

六、常ニ執務ニ興趣ヲ感セシメ疲勞除去ノ方法ヲ講スルコト（興趣充進主義）

說明

凡ソ部局ノ長ハ職員ヲシテ事務ニ對シ常ニ興味ヲ感セシメ單調ヲ避ケ以テ職員ノ心神共ニ倦怠ト疲勞トヲ感セシメサル様ニ勉ムルト共ニ執務時間中ニ事務ノ性質ニ應シ一定ノ休憩時間ヲ特設スル等疲勞除去ノ方法ヲ講スヘシ

七、部局ノ長ハ絶エス部下ノ能否ヲ注視シ適材ヲ適所ニ配置スルコト（適材適所主義）

說明

事務ニ對スル適應如何ハ人ノ天稟ニ俟ツモノ多シ仍テ各種ノ事務ニ就キ精密ナル研究ヲ



遂ケ其ノ事務ノ要求ニ基キテ相當ノ機能ヲ具有スル者ヲ配置スヘシ之ニ依リ職員自身執務ヨリ來ルノ勞苦ヲ輕減スルト同時ニ事務ノ能率ヲ擧クルコトヲ得ヘシ

八、適材ヲ永ク同一地位ニ置クコト（適材重用主義）

說明

事務ニ適スル材能ハ久シク之ヲ同一事務ニ當ラシルムニ於テ愈々熟練ヲ加ヘ官廳事務ノ能率ヲ擧ケ得ルヲ以テ適材ハ勉メテ永ク同一地位ニ置クヘシ

九、官吏ハ恪勤精勵タルヘキコト（恪勤精勵主義）

說明

官吏ニシテ如何ニ能力ヲ有スルモ勤務常ナク時ニ公用ヲ缺クカ如キハ最モ戒メサルヘカラサル所ナリ官吏ハ精勵恪勤以テ事ニ當ラサルヘカラス

說明

一〇、官吏ハ健康ノ保持ニ注意スルコト（健康尊重主義）

事ニ當リテ倦マサルハ固ヨリ強固ナル健康ニ俟タサルヘカラス是ヲ以テ官吏ヲ採用スルニ當リ先ツ體格検査ヲ行ヒ官吏トシテ職務ニ堪ヘサル者又ハ他ニ傳染ノ虞アル疾病ヲ有スル者ハ之ヲ採用セサルコトトシ又官吏ハ執務中常ニ清潔ヲ期シ健康ノ障害ヲ未然ニ防止スルト共ニ個人トシテモ自己ノ健康維持ニ勉メ以テ職務ニ勵精スヘシ

一一、官吏ハ虚禮ヲ排シ質實ノ風ニ就クコト（質實剛健主義）

說明

官吏ハ特ニ輕佻浮華ノ弊風ヲ排シ例ヘハ部内ニ於ケル贈答、形式的ニスル停車場ノ送迎等ノ如キ虚禮ハ之ヲ避ケ以テ質實健剛ナル美風ノ作興ニ資スヘシ



◎内閣總理大臣ヨリ各官廳へ訓令

大正十五年六月一日  
内閣訓令號外

法令形式ノ改善ニ關スル件

現今ノ諸法令ハ往々ニシテ難解ノ嫌アリ。其ノ原因ガ内容ノ複雑ナルニ存スル場合ナキニアラザレドモ、記述ノ方法ヨリ來レルモノ亦少カラズ。自今法令ノ形式ヲ改善シテ文意ノ理解ヲ容易ナラシムルコトニ力ムルハ時勢ノ要求ニ應ズル所以ノ道ナリト信ズ。今此ノ點ニ關シテ特ニ留意スベキ事項ヲ擧グレバ左ノ如シ

- 一 法令ノ用字、用語及ビ文體ハナルベク之ヲ平易ニシ、一讀ノ下容易ニ其ノ内容ヲ了解セシメンコトヲ期スベシ。又現行ノ法文ニ於テハ特殊ナル場合ノ外濁音ノ假名ヲ用ヒザレドモ、思想表示ノ方法ヲ出來得ル限り正確ナラシメンガ爲ニハ一般ニ之ヲ用フベキノミナラズ、句讀點、括弧及ビ之ニ類スル符號ヲモ使用シテ文章ノ章句段落ヲ分チ、列記セル名詞ヲ區分シ、挿入セル語句ヲ明ラカナラシムル等ニ便ズベシ。尙送假名ハ世間ノ常例ニ從ヒテ之ヲ使用シ、略字ハ一般ニ通ズルモノヲ採用スルコトヲ妨ゲザルベシ。右ノ外難解ノ漢字、古典ノ用法ニ屬スル假名ハ努メテ之ヲ避ケ、舊法令ニ用ヒタル特別ナル語句、語法トノ調和ノ如キハ必ずシモ之ニ拘泥セズシテ可ナリ。



一 從來多數ノ法令ハ論理ヲ尙ブノ餘リ努メテ文字ヲ省略シタルヲ以テ其ノ内容ノ複雑ナルニ拘ラズ、法文簡約ニ失シタルノ傾向アリ。故ニ一二行ノ法文ニ對シテモ數頁ニ亘ルノ註釋ヲ要シ、又ヨク之ヲ理解セントスルニハ往々複雑ナル推理ヲ用ヒザルベカラザルノ必要アリテ頗ル其ノ煩ニ堪ヘズ。シカノミナラズ其ノ推理ノ過程ニ於テ人々見解ノ差異ヲ生ジ爲ニ解釋上ノ疑義多キヲ加フルノ弊ナキ能ハズ。依リテ今後ノ法文ハ必ズシモ文章ノ簡約ヲ旨トセズ、相當詳細ニ敘述シテ及ブ限リ其ノ内容ヲ明瞭ナラシメンコトニ力ムヘシ。

一 法文ノ記述ニ就キテハ實用ヲ主トシ懇切ヲ旨トシテ其ノ内容ヲ整理排列スベシ。例ベバ大法典ニハ目次ヲ附シ章節ヲ分チ、又複雑ナル事項ヲ記述スルニハ表記其ノ他理解ヲ容易ナラシムルノ方法ヲ用ヒ、更ニ便宜ト認ムル場合ニハ或ハ例示ヲナシ、或ハ圖解ヲ施シ、或ハ法ノ動機、理由、目的等ヲ明記シ、或ハ標準トナルベキ書式ヲ附記シ、或ハ關係條文ヲ舉ゲ、或ハ當該法令制定ノ爲ニ舊法ノ如何ナル點ガ改廢變更セラレタルカヲ示シ、尙一團ヲナセル事項ハナルベク一團ノ法文中ニ規定スルコトトシ、法令ニハ一般ニ表題ヲ附シテ搜索引用ノ便ヲ圖リ、時ニハ其ノ表題ニ假名ヲ附スルモ之ヲ憚ラザル等ノ點ニ留意スベシ。

以上掲クル所ハ現今ノ法令形式ノ改善ニ關スル大綱ナリ。要スルニ法令ハ國民ノ準行又ハ利用スル所ナルニ顧ミ、其ノ理解ヲ容易ナラシメンガ爲ニ平易明瞭、懇切周到ヲ旨トシ、徒ラニ形式體裁ノ美ニ流レザランコトヲ期スベシ。



郵便例規集目次

第一類 通牒、指令、回答……………一頁

一、管理事務……………一頁

○渡切經費減額處分……………一頁

○辨償徵收處分……………三頁

○郵便運送命令違背處分……………五頁

○損害賠償及報酬……………七頁

○郵便物拾得者ニ報勞金給與……………一三頁

○告訴告發……………一五頁

○附帶私訴……………一九頁

○郵便ナル文字使用方……………二一頁

○郵便旗掲揚方……………二三頁

目次



- 第三種郵便物認可……………二五頁
- 約束郵便ノ承認……………三一頁
- 年賀郵便特別取扱開始期日……………三五頁
- 郵便物ノ事故處理……………三七頁
- 不能還付郵便物……………四一頁
- 郵便料金還付……………四三頁
- 郵便切手類及收入印紙配給局並同區域ノ指定變更……………四五頁
- 郵便切手類及收入印紙賣捌所ノ設置變更……………四七頁
- 郵便切手類及收入印紙賣捌……………四九頁
- 郵便切手類記號承認……………五七頁
- 代書人設置……………五九頁
- 郵便函雛形及設置方……………六一頁
- 書留引受番號器使用方……………七一頁

- 保護銃使用及火藥類購入方……………七三頁
- 事業用物品ノ調製及交付……………七五頁
- 三等局長會……………八二頁
- 視察……………八三頁
- 庶務……………八五頁

二、現業事務……………八七頁

△、郵便物種別……………八七頁

- 一、第一種……………八七頁
- 一、第二種……………一〇五頁
- 一、第三種……………一一三頁
- 一、第四種……………一一九頁
- 一、第五種……………一二七頁



B、特殊取扱……………一二九頁

一、書留……………一二九頁

一、價格表記……………一三三頁

一、別配達……………一三五頁

一、留置……………一三七頁

一、配達證明……………一三九頁

一、內容證明……………一四一頁

一、代金引換……………一四七頁

一、集金郵便……………一四九頁

一、切手別納郵便……………一五五頁

一、約束郵便……………一五七頁

一、市内特別郵便……………一五九頁

一、速達郵便……………一六一頁

一、航空郵便……………一六三頁

一、選舉無料郵便……………一六七頁

C、引受、遞送及配達……………一八七頁

○引受検査……………一八七頁

○依託引受……………一九五頁

○無料郵便……………一九七頁

○小包郵便……………二〇三頁

○植物検査品在中小包取扱方……………二〇七頁

○取集、差立、遞送及到著……………二〇九頁

○配達及集金郵便取立……………二一七頁

○交付(代金引換、留置等)……………二二五頁

○訟訴審判及審査書類……………二二九頁



- 名宛變更及取戻……………二三三頁
- 轉送及還付……………二三五頁
- 郵便切手類ノ效力……………二四一頁
- 郵便禁制品……………二四三頁
- 成規違反……………二四七頁
- 犯罪及事故郵便物……………二四九頁
- 差押郵便物……………二五三頁
- 軍隊及軍艦宛郵便物取扱方……………二五五頁
- 郵便函ヨリ發見シタル物件等處理……………二五七頁
- 陛下及殿下宛郵便物取扱方……………二五九頁
- 各種期間ノ計算方……………二六一頁
- 私書函貸與……………二六三頁
- 三、現業事務雜件……………二六五頁

第四

- 通信日附印及印肉使用方……………二六五頁
- 各種揭示及廣告……………二七三頁
- 度量衡器ノ使用及検査……………二七七頁
- 徴發及課稅……………二八七頁
- 他官署又ハ公衆ノ依託……………二九一頁
- 他官署又ハ公衆ヘ依託……………二九三頁
- 現業局吏員ノ心得ヘキ事項……………二九五頁
- 窓口及室内器具配置方……………二九九頁
- 各種ノ注意又ハ取締方……………三〇一頁
- 受付時間及時ノ勵行……………三〇七頁
- 雜件……………三〇九頁

第三

第二類 内規

- 第二類 内規……………三一頁



第三類 協定及報告

- 遞信省徽章、通信日附印及郵便切手類模造取締規則及內規……………三二一頁
- 印紙模造取締規則……………三一五頁
- 記念郵便切手並記念郵便繪葉書發行內規……………三一九頁
- 特殊通信日附印使用內規……………三二一頁
- 圖案文字ヲ挿入セル通信日附印使用內規……………三二三頁
- 郵便物運送違約謝金算定內規……………三二七頁

第三類 協定及報告……………三三一頁

- 通信業務執行上外地トノ協定事項拔萃……………三三一頁
- 郵便業務改良試驗執行局……………三三三頁
- 遞信局長報告事項……………三三五頁

第四類 處 務……………三三九頁

- 遞信省處務規程……………三三九頁
- 文書取扱細則……………三四九頁
- 遞信省公文書式……………三五九頁
- 起案ニ關スル特定事項……………三八一頁
- 公報掲載事項ニ關スル注意……………三八三頁
- 規則細則等ノ區別……………三八五頁
- 文 例……………三八七頁
- 用 字 例……………三九九頁
- 公 式 令……………四〇九頁
- 官吏服務紀律……………四一五頁
- 官廳執務時間……………四一九頁

第五類 分課分掌及委任……………四二一頁



遞信省分課規程(抄).....四二一頁

○ 郵務局分掌規程(抄).....四二三頁

○ 局長委任規程.....四二五頁

○ 郵務局長委任規程.....四二九頁

○ 遞信局長職務章程.....四三三頁

○ 一、二等郵便局、電信局及電話局長職務章程.....四四七頁

附錄.....四四九頁

○ 司法判決例.....四四九頁

一、郵 便.....四四九頁

一、郵便切手類及收入印紙.....四六一頁

一、通信日附印.....四六二頁

一、雜.....四六四頁

○ 行政判決例.....四七一頁

○ 參 照.....四七五頁

○ 郵 便 法.....四七五頁

○ 郵便規則.....四八七頁

○ 郵便料金表.....五三一頁

○ 郵便物容積及重量.....五四三頁







# 第一類 通牒、指令、回答

## 一 管理事務

### ● 渡切經費減額處分

○ 渡切經費減額處分ニ關シテハ左記了知スヘシ(四〇、五通規甲一二〇四各管)

- 一、減額スヘキ費額ハ其、情狀ニ依リ貴官ニ於テ之ヲ定メ其ノ事故ノ區別ニヨリ細則中ノ該當種目ニ對シ必要ト認メタル期ノ交付額ヨリ之ヲ控除ス但シ一回ノ控除額ハ該當種目ノ總月額二分ノ一ヲ超ユルヲ得ス
  - 二、前項ニヨリ減額タル場合ハ左記様式ノ告知書ヲ交付ス告知書ニ添付シテ其ノ理由ヲ通牒スルハ支ナシ
- (様式)

### 渡切經費減額告知書

(何) 郵便局長

郵便、電信電話官署經費渡切規則施行細則第十條第三號ニ據リ其局何年度何月分渡切經

渡切經費減額處分



渡切經費減額處分

二

費集配(又ハ遞送等)費交付額中左記ノ金額ヲ減額ス

年 月 日

(何)

局 長

一金何圓

三、減額處分ハ普通三等局長ニ對シ適用スルモノトス

○事務ノ改廢ニヨリ減額スヘキ種目ナキトキハ便宜之ヲ變更スルコトヲ得(四〇、七通規甲一  
九八一、名古屋)

答 復 書 簡

●辨償徴收處分

○服務規約第四條ハ傭員ニ對シ辨償處分ヲ加ヘスト云フニアラス唯保證則チ第二ノ義務者ト  
ナストキハ相當ノ手續ヲ要スル等ノ不便アルニ依リ之ヲ避ケタル迄ノ規定ニ付先ツ傭員ニ  
於テ辨償不能ト認メタル場合ニ至リ當該局長ニ辨償セシムル方順序ナリ(三一、二神戸)

○取扱上ノ過失ニ依リ官損ヲ生セシメタル郵便料金ハ當務者ヨリ辨償徴收支ナシ(三四、二  
通郵乙一三五八、東京)

○受取人異議ナク受領後郵便物ニ損害アルコト發見ノ場合郵便官署ノ取扱中之カ損害ヲ與ヘ  
タルコト明瞭ナルモノハ其ノ損害ヲ賠償スヘキ旨通牒セルハ畢竟法(三十三條)ノ精神ヲ解  
釋公示シタルモノニシテ單ニ行政上任意ノ處置ニ出テタルモノニ無之ニ付三等局長ハ本條  
ニ依ル辨償責任ヲ有スルモノトス(三五、一一、東京)

○三等局員ノ犯罪ニ依リ損害賠償ヲ爲シタル場合ハ當該局長ニ辨償ヲ命スルコトヲ得(三七、  
二通庶乙一七六三、鹿兒島)

○三等局長ヲシテ料金還付ニ要セシ官損金ヲ辨償セシムルトキハ現金ヲ以テスヘシ(三九、七

辨償徴收處分

三



辨償徵收處分

○通法乙五八三八、東京

○三等局長ノ服務規約ニ依ル辨償責任ハ其ノ亡失セシメタル郵便物ノ有料タルト無料タルトニ依リ差異ナシ(元、一〇、通業三九四七、新潟)

○三等局長服務規約第四條ハ雇員傭人ノ職務執行中ノ所爲ニ限り局長其ノ責ニ任スヘキ趣旨ニ解スヘク職務外又ハ職務終了後ノ所爲ニ就テ迄局長ニ責任ヲ負擔セシムルノ趣旨ニアラス(六、九、通業三五七〇、東部)

●郵便運送命令違背處分

○運送命令書ニ依リ運送業者處分ノ要アル場合之カ上申ニハ左記注意スヘシ(四二、九通業乙六八〇七、各一)

一受命責任者ノ手續書添付ヲ要ス  
一上申書ニハ左記事項明記ヲ要ス

(一)事故發生ノ年月日郵便物運送航路名又ハ鐵道線路名、便名  
(二)郵便物受渡ヲ缺キタル場合ハ行囊ノ發著局名、個數(通常小包ノ別)受渡ヲ缺キタル結果郵便物ヲ遅延セシメタル概算時間

(三)郵便物ヲ毀損又ハ濕濡シタル場合ハ損害ノ程度詳細

(四)郵便物ヲ亡失毀損又ハ濕濡シタル場合ハ郵便官署ニ於テ損害賠償ノ關係

一郵便物運送上ノ事故ニ關シ局ト受命者ト各其主張ヲ異ニスル場合ハ事實ヲ立證スヘキ材料添付ヲ要ス

一其他受命者ノ處分上必要ト思料セラルル事項

○運送命令違背者處分方貴官ニ委任ニ付左記注意アレ(四三、四通業一五九四、各管、五、

郵便運送命令違背處分



七、通業二六六四、各分)

- 一、委任ノ範圍ハ鐵道便全部並内國航路及本邦清韓國船舶便(航海獎勵法、航海補助命令及寄港補助命令ニ依ルモノヲ除ク)ニ限ルコト
- 二、二管理局以上ノ區域ニ亘ル線路ニ於ケル事故ハ受命者ノ主タル營業所ノ所在地ヲ管轄スル管理局ニ於テ之ヲ處分スルコト
- 三、事故發見地ヲ管轄スル管理局ニ於テハ事實ヲ調査シ受命者ヨリ手續書ヲ徴シ其自局ニ於テ處分スヘキモノニ非サルトキハ之ヲ受命者ノ主タル營業所ノ所在地ヲ管轄スル管理局ニ通知スルコト
- 四、郵便物運送上ノ事故ニシテ其結果官ニ損害ヲ與ヘタルモノ及第一項ノ委任ノ範圍外ノ船舶便ニ於ケル郵便物運送上ノ事故ニ關シテハ事情ヲ詳具シ處分方ヲ上申スルコト
- 五、處分金額ハ特別ノ事由アル場合ヲ除クノ外一回金一圓以上二十圓以下トシ事故ノ輕重及運送料ノ多寡ヲ參酌シテ之ヲ定ムルコト
- 六、三十四年十月十日通第六二二七號及同十二日親通鐵甲第四六七號ハ自然消滅ノコト

●損害賠償及報酬

○價格表記郵便物受取人異議ナク受領後ト雖在中現金ヲ取扱者ニ於テ窃取シタルコト發見ノ場合ハ損害賠償ヲ爲スモノトス(三四、二、通郵甲五二六、京都三八、三、通郵乙二六四八、各一)

○特殊郵便物配達ノ際公衆カ法規ヲ辨ヘサル結果受取開披ノ後事故ヲ申出ツルモノアルモ損害ヲ賠償スル途ナキニ付特ニ事故ノ有無ニ注意シ若シ其ノ封印等ニ異狀アラハ相當符箋シ受取人ヲシテ賠償ノ權ヲ保有セシムル様喚起スヘシ尙價格表記郵便物配達ニ際シ集配人立會ノ上開封スルハ違則ナルニ付嚴ニ取締ルヘシ(三九、一〇、通法乙八九七六、各)

○郵便物ノ主要部分亡失シ其ノ結果亡失ニ等シキモノハ亡失トシテ損害賠償ヲ爲ス(三四、五、通郵乙四六二〇、大阪四一、一一、橫濱)

○郵便物ヲ強盜ニ掠奪セラレタル場合不可抗力ト解スヘキヤ否(賠償ノ要否)ハ事實ニ依リ判定ス(三七、五、通庶乙二〇七〇八、臺灣)

○毀損小包ノ賠償額ハ内容品ノ全部現存セル場合ニ於テモ其ノ内使用ニ堪ユヘキ部分ヲ差引



キテ所謂減重量ヲ算出シ尙一小部分ヲ汚斑浸濕シタル場合ノ如キモ價格ニ至大ノ影響ヲ及ホスモノハ其ノ損害ノ割合ニ依リ總重量ニ對スル規定額ノ範圍内ニ於テ賠償要求ニ應スルヲ妥當トス(四〇、一〇、通業甲九一四、青森)

○書留小包亡失ノ爲損害賠償後其ノ幾部ヲ發見シ之カ交付ヲ請求シタル場合返付金額ノ算定方ハ曩ノ賠償額ヲ其ノ郵便物ノ實價ト見做シ原重量ヲ以テ右賠償額ヲ除シ其ノ商ニ發見部分ノ重量ヲ乘シテ之ヲ算定シ厘位以下ハ四捨五入トス(四〇、一一、通業乙九〇七五、神戸)

○火災又ハ船舶沈没ノ爲郵便物ヲ亡失毀損シタル場合不可抗力ト解スヘキヤ否(賠償ノ要否)ハ事實ニ依リ判定ス(四二、一、通業乙六六八、熊本)

○郵便物船便遞送中行囊ヲ海中ニ墜落濡浸セシメ爲ニ在裡郵便物ノ銃身全部ニ錆ヲ生セシメタルモノハ四十年十月青森局照會通信局回答ニ準シ總重量ニ對スル規定額ノ範圍内ニ於テ賠償ノ請求ニ應ス(四、二、通業七一五、西部)

○書留通常郵便物在裡品ノ主要部分(時計金鎖等)亡失スルモノ一部(信書)殘存セル場合ハ亡失トシテ賠償請求ニ應スルヲ得ス(四、三、通業七二〇、西部)

○法第三十三條ノ證券ニハ現金受領證ヲ包含セス(五、一〇、通業四六一六、北部)

○損害賠償請求人ニ於テ規則第八十九條ニ定ムル賠償金額ノ一部分ニ對シ請求權ヲ拋棄スルハ支ナシ(七、三、業七三九、北海道)

○集金郵便證券亡失ノ場合之カ實損額ハ證券ノ無效ヲ宣言スル公示催告ノ費用、運送賃及倉敷料等ヲ包含スヘキ場合アルヘク取立金額ノ範圍内ナラハ之ヲ賠償スヘキモノトス(三、四、通業八〇八、西部)

○貨物引換證付集金郵便引受後郵便官署ノ過失ニ因リ之ヲ亡失シタルヲ以テ郵便官署ハ損害賠償ヲ了シ又支拂人ハ鐵道省ニ對シ擔保金供託ノ上該貨物ヲ引取りタルニ依リ郵便官署ハ委託者ニ代位シテ支拂人ニ對シ代金取立債權ヲ行使シタルニ支拂人ノ履行ニ代フルニ鐵道省ニ對シ有スル擔保金還付請求權ノ讓渡ヲ以テシタル場合該擔保金還付ニ關シテハ官廳相互ノ取扱ナルヲ以テ鐵道運輸規程擔保取扱手續ニ據ラス單ニ債權ノ讓渡ヲ受ケタルコトノ證明ヲ提出スルトキハ便宜直ニ還付ヲ受クルコトニ協定シタルモ尙鐵道省ニ於テハ今後類似ノ事件發生ノ場合ハ個々ニ詮議決定スヘキニ付向後事件發生シ地方關係ニ於テ涉議纏マラサル場合ハ其ノ都度申出アレ(一一、七、郵第二三三二、各遞)



○郵便規則第八條第六號ニ所謂損害賠償ヲ爲スヘキヤ否ヤハ規則第八十七條ニ依リ決定スヘキ問題ナルヲ以テ同條決定以前ニ於テハ料金還付ノ請求ニハ應シ得サル義トス(昭和四、四、郵業二八一、大阪)

○代金引換郵便物ノ取立金ノ取立ヲ爲サシテ名宛人ヘ交付シタル場合差出人ニ賠償ヲ爲スハ當該郵便物ヲ交付シタルコトト因果關係アル損害ニ限ルモノトス(昭和五、五、郵業四六〇、大阪)

○代金引換ノ取立ヲ爲サシテ郵便物ヲ交付シタルトキハ郵便物ノ回收又ハ取立金ノ追徴ヲ爲シ能ハス又ハ之カ爲著シク時日ヲ要スルモノハ先ツ損害賠償ノ手續ヲ爲スヘシ(四〇、三、通業甲二四五、各一)

○今般公達第九二二號ヲ以テ保存期間改正ノ處右ニ關シテハ左記了知可然處理アレ(昭和五、一〇、郵業八二三、各遞)

一、郵便物着否調査上必要ナル式紙帳簿類モ全部一ヶ年保存トナリタル結果稀ニハ取扱經路ノ不明トナレル場合ナシトセス其ノ場合ニハ四圍ノ事情ヨリシテ全ク郵便局所ノ取扱中ノ事故タルコトヲ推定セラルルトキハ所定ノ賠償ヲ爲スヘキコト

(二二三省略)

○書留小包中ヨリ其ノ一部分ヲ拔取リタルモノハ亡失ニ準シ賠償方取計支ナシ追テ賠償額ハ反證ナキ限り最低單位重量(五百瓦迄)ノモノト推定算出シ若シ反證アラハ調査ノ上相當額ヲ認定スヘシ(昭和八、一一、郵業九二、廣島)

○野戰郵便局ニ於テ普通郵便ヲ取扱フ場合ニ於テ價格表記郵便物ヲ取扱中亡失シタルトキハ明治三十九年九月一日通第三五九七號通信業務執行ニ關シ關東廳トノ協定ニ準シ損害賠償及郵便料金ノ還付ハ當省負擔ノコトニ取計支ヘナシ(昭和一〇、一一、郵業七九、東京)



●郵便物拾得者ニ報勞金給與

○郵便物拾得者ニ對スル報勞金ハ郵便物ノ有科無料ヲ問ハス一應其ノ賠償額ヲ標準トシテ決定スヘキモ特別ノ事情アルモノハ其ノ都度指揮ヲ受クヘシ(四五、二、通業八二二、大阪)

○機械受渡墜落郵便物拾得者ニ對シ報勞金トシテ金二圓支給ノ處更ニ水難救護法ニ依リ拾得料請求越ノ處郵便物ハ郵便官署ノ管理スル所ナリト雖其ノ物件ノ所有者タル地位ニアラス從テ水難救護法ニ依リ所有者ノ支拂フヘキ物件ノ價格ニ應スル拾得料ヲ負擔スヘキ限ニ無之唯郵便官署ノ管理スル郵便物ノ發見引渡ノ行爲ニ對シテ報勞シタルモノニ付重テ其ノ請求ニ應スヘキ理由ナシ(八、三、郵五三九、西部)



●告訴告發

○記念繪葉書圖案ヲ帛紗等ニ染入ルルハ著作権ニ關係ナシ(三七、九、通庶甲五〇一四、京都)

○鐵道營業者カ鐵道ニ依リ郵便法第十八條中第四種ニ列記ノ物品ヲ運送スルハ郵便法第二條ニ牴觸セス又印刷シタル招待狀多數ヲ一括トシテ發送シ更ニ各人ニ配付スルモノト認メラルルモノ等ヲ運送スルハ同條ニ牴觸ス(四〇、五、通業乙二一九六、會社)

○切手類模造取締規則施行後該規則ニ牴觸スルモノハ犯罪事件處理手續ニ依リ處理スルコト(四三、一、通業八三五九、各一)

○宛所ノ者又ハ同居ノ親族カ他人宛郵便物ノ受取ヲ拒ミタルトキハ特ニ代理受領ノ義務アル場合ノ外郵便法違反ニアラス(四三、七、通業三三〇六、東京)

○民事及商事ノ非訟事件ニ關シ左ノ通司法大臣ヨリ照會アリタルニ付該趣旨ニ添フ様配意アレ(四五、六、官監甲一四九、各管)



司法省民事第五八五號

從來民事及商事ノ非訟事件ニ關シ過料ニ處スヘキ事件續發シツツアルヘシト信スヘキ理由アルニ關セス裁判所ニ請求若クハ通知ヲ爲ササルカ爲メ實際適當ノ處理ヲ施スニ由ナク遺憾ナカラ此種規定ヲ空文死法トシテ埋了シ來リタル現況ニシテ斯クノ如キハ過料規定ヲ設ケタル本旨ヲ全然没却スルハ勿論延ヒテ一般法規ハ威信ヲ減損スルノ傾向隨伴スルノ虞ナキニアラス就テハ將來貴省及ヒ貴省所管ノ官廳ニ於テ官吏カ其職務上民事及商事非訟事件ニ關シ非訟事件手續法第二百六條ノ規定ニ依リテ地方裁判所ノ所轄ニ屬スヘキ過料事件ナルコトヲ認知シタルトキハ其都度管轄地方裁判所長ヘ通知セシメラレ候様御取計相成度右ハ全國地方裁判所長ノ建議ノ次第モ有之候ニ付此段及照會候也  
明治四十五年五月二日

司法大臣

遞信大臣

追テ通知ニ因リ過料事件ヲ認知シタレハトテ固ヨリ必罰主義ヲ主張セムトスルニハアラス諸多ノ關係ヲ商量斟酌シ取捨加減實際ノ必要ニ適應スルノ處分ヲ爲スヘキ趣旨ニ有之候爲念

○郵便法改正セラレ第二十條違反ノモノハ第四十七條ニ依リ處罰セララルコトナリタル處從來其ノ違反者ニ對スル處分ハ局ニ依リ又同一局ニ於テモ時代ニ依リ寬嚴其ノ程度ヲ異ニスルカ如キ傾向アリタルモ犯罪ノ如キ處分カ右ノ如ク區々ニ亘ルハ甚タ遺憾ナルノミナラス此ノ種ノ犯罪ハ益々増加ノ傾向ヲ有スルニ依リ改正郵便法施行後ハ明ニ過失ニ因ルカ若ハ料金免脱ノ意志ナキコト明瞭ナルモノ又ハ郵便ニ關スル智識低級ナルニ起因シ眞ニ同情スヘキモノノ外ハ告發ノ手續ヲ勵行セラレ度尙其ノ犯罪者中ニハ家族若ハ使用者等ノ過失ニ藉口シテ處罰ヲ免レムト企ツルモノ少カラサル由ニ付之等ニ對シテハ特ニ留意ノ上取締上遺漏ナキヲ期セラレ度(五、七、秘二二二一、各遞)

○要件ヲ記載シタル書面ヲ有料ニテ預リ別ニ其ノ名宛人氏名ヲ告示板ニ揭示シ受取方申出アリタルトキ相當手数料ヲ徴シ交付スル行爲(ポスト・ガール・サービス)ハ別ニ郵便法第二條第一項ノ違反ニアラス(昭和六、一、郵業三、東京)

○郵便物ニ非サル物件ニ切手別納郵便又ハ約束郵便等郵便規則所定ノ印章ヲ押捺配付スル行爲ハ刑法第六十五條第二項ニ該當スル旨司法省ヨリ回答アリタルニ付了知可然處理アレ(昭和三、一、郵業六一、各遞)



- 左記概要ニ依リ「メツセンヂヤ・サービス」ナル營業ヲ爲スモノアル處其ノ内容中信書ノ送達ヲ爲スコトハ郵便法第二條ニ違反スル義ニ付相當取締方配意アレ（昭和五、九、郵業八〇二、各遞）
- 一、一般公衆ノ需ニ應シ物品及信書ノ送達、集金其ノ他ノ用件ヲ便スルモノトス
  - 二、料金ハ依頼者ヨリ區域、所要時間、携行量目等ニ依リ一定額ヲ徴收ス
  - 三、信書ノ送達ニ付スハ營業科目ニ掲ケ廣告、引札等ニ明記シアリ

●附帶私訴

- 一等局長訴訟ニ付國ヲ代表スル場合ハ課僚又ハ二、三等局長ヲ指定シ國ノ代表者トスルモ支ナシ（二五、九、大阪）
- 服務規約第四條ノ規定アレハトテ公訴ト共ニ私訴ヲ提起シ得サル次第ニ無之又私訴ヲ提起シタレハトテ局長ノ辨償義務ヲ免レシムル結果ヲ來スニモ無之要スルニ服務規約第四條ハ犯人無資力ノ決定ヲ待タス直ニ辨償責任ヲ負ハシメタル迄ニシテ之カ爲私訴ヲ一切提起セストノ次第ニハアラス（二八、一〇、青森）
- 犯罪告發ハ可成寛大ニシ私訴提起ノ如キモ訴訟費用ト相償ハサルモノハ見合スヘシ（三一、五、郵甲一八八四、各一）
- 私訴ハ可成公訴ニ附帶シテ提起シ費用及手數ノ省略ヲ計ルハ勿論犯人無資産ト雖モ特ニ費用ヲ要セサルモノニアリテハ私訴ヲ提起シ他日ノ債權ヲ確定シ置クヘシ（四〇、一〇、通業乙八〇四五、各一）
- 私訴提起ノ場合其ノ訴ヲ受理スヘキ裁判所カ管轄區域外ニアルトキハ大臣ニ於テ國代表者



ヲ指定スル義ニ付斯ル場合ハ事件ヲ繫屬裁判所々在地ヲ管轄スル管理局ニ移シ同局長ニ於テ適任者選定ノ上代表者指定方上申スヘシ(四五、六、貯監二六六四、各管)

○（以下は極く淡く印刷された文字で、ほとんど読み取れない。内容は法律条項の引用と思われる。）

●郵便ナル文字使用方

- 「郵便杓子」ナル文字ハ使用シ得ス(昭和四、九、郵業八七七、私人)
- 暑中休暇中児童教育ノ一トシテ児童相互間ニ「學校郵便」ナル名稱ノ下ニ通信ヲ交換セシムル場合「郵便」ナル名稱ノ使用ハ避ケラレタシ(昭和一〇、八、郵業七〇九、小學校)







### ● 第三種郵便物認可

○ 一商家ノ廣告又ハ會員ニ配布ノ目的ヲ以テ發行スル會報々告書ノ類及廣告集又ハ講義錄體ノモノハ認可スヘカラス（三三三、一一、通郵乙一二六〇七、各一）（四一、三、通業乙一九九六、東京）

○ 改題ト同時ニ改號ノ場合ハ尙逐號ト認メ認可效力ハ繼續ス（三六、一二、通庶甲三五七、各一）

○ 村報ハ第三種郵便物タルノ條件ヲ缺クモノトス（昭和九、六、郵業四三〇、公署）

○ 改題ト同時ニ改號スル場合ノ外途中改號ハ認メサル方針トス（昭和八、九、郵業六〇七、東京）

○ 規則改正ニ付左記了知スヘシ（四〇、八、通業乙六二六二一、各一）  
追テ第三種ノ認可ヲ受ケタル刊行物ニシテ廣告ノ目的ニ供スル等規則ニ適合セサルモノヲ發行シ之ヲ施行地以外ノ局ニ差出シ以テ所轄局ヲシテ認可取消ノ時機ヲ逸セシメ巧ニ低料



郵送ノ目的ヲ遂ケントスルモノアルヤニ付テハ他ノ郵便區ニ於テ發行スル刊行物ニシテ一時ニ多數差出スモノアルトキハ特ニ此ノ點ニ留意シ明ニ認可規則ノ精神ニ違背スルモノナルコトヲ認メタル場合ハ先ツ其ノ發送ヲ停メ直ニ發行地所轄ノ遞信局ニ其ノ旨ヲ電報シ其ノ回答ヲ待ツテ相當處理スルコトニ區内各局へ内牒相成度

記

(一)書籍ノ性質ヲ有スルモノ

- 一、判決録又ハ法令全書及其ノ加除月報等ニシテ書籍又ハ書籍ノ一部ト爲スヘキ形體ヲ有スルモノ但シ單ニ判決例又ハ法令ヲ報道スルヲ主タル目的トスルモノハ此ノ限ニアラス

(二)公共ノ性質ヲ有セサルモノ

- 一、各種商品ノ説明、定價附其ノ他營業上ノ趣意書等一個人ノ廣告ヲ主タル目的トスルモノ(會社又ハ數家聯合ノ廣告亦同シ)

- 二、他ノ依頼ニ應ジ發行スルモ記載事項主トシテ前項ト同様ノ目的ニ供スルモノ

(三)報道論議ノ目的ヲ有セサルモノ

- 一、各種會報、會誌、社報等團體ノ機關誌ニシテ其ノ記載事項各團體内ノ消息意見等ヲ其ノ團體内ニ報告交換スルヲ主タル目的ト爲スモノ但シ多少是等ノ記事アルモ公共

ノ性質ヲ有スル事項ヲ社會ニ發表シ主張シ論評スル等ヲ主タル目的ト爲スモノト認メ得ラルルモノハ此ノ限ニアラス

(四)汎ク公衆ニ發賣セサルモノ

- 一、定價ヲ附スルモ事實發賣ノ形跡ナキモノ又ハ當初ヨリ廣告用トシテ得意先又ハ公衆ニ配付スルヲ目的トシテ發行シタリト認メラルヘキモノ

○見本以外ニ郵便物トシテ差出ササルモノハ見本差出局ヲ指定スルニ及ハス(四〇、一〇、通業乙七三四三、天津)

○本紙ノ發行地以外ニ於テ附録又ハ號外ノ名稱ヲ以テ發行スル刊行物ハ無代配付ト雖他ノ點ニ於テ規則ニ牴觸セサル限り認可支ナシ又廣告掲載ヲ主タル目的トシテ發行スルモノハ認可セス既ニ認可セルモノハ内情ヲ調査シ取消シノ處分ヲ爲スヘシ(四〇、一一、通業乙八七九九、各一)

○普通ノ相場新聞ハ勿論假令仲買人ニ於テ買取り配布スル相場新聞ト雖發行ノ目的カ相場ノ報道ニ在リ且一般ニ發賣セラルヘキ性質ヲ有スルモノハ認可支ナシ但シ仲買人等ノ廣告掲載ヲ主タル目的トスルモノハ此ノ限ニ在ラス(四〇、一一、通業甲一一四四、各一)



第三種郵便物認可

二八

○鳥取縣農會ヨリ同會報第三種認可取消ノ事由照會ニ對シ左ノ趣旨ヲ以テ回答シタリ(四一、一、通業乙九七八四、各一)

第三種郵便物認可規則第二條第四號ハ一般ニ報道論議スルヲ目的トシテ發行シ汎ク公衆ニ發賣サルヘキ性質ヲ有シ且其ノ事實アルコトヲ要ス而シテ本會報ハ其ノ體裁及記事ヨリ見ルモ又頒布ノ方法ヨリ見ルモ農會ニ關スル事項ヲ報告スルヲ主タル目的トシテ發行スルモノト認メラルルヲ以テ第三種ノ認可ヲ取消シタルハ至當トス

○題號「浮城」ヲ「ウキシロ」トスルカ如キ題號ノ變更トシテ處理スヘシ(四一、五、通業乙三四六九、東京)

○外國人ニ對シテモ認可支ナシ(四一、六、通業乙四三五四、抗州)

○臨時増刊ニ特別ノ題號ヲ附シタルモノハ記事ノ性質本紙ト同様ナルモノニ限り別種刊行物ト看做サス(四一、一一、通業乙八五六六、東京)

○縣公報ハ第三種附録トシ又ハ單獨ニ第三種認可支ナシ(四三、三、通業一一二二、熊本)

○見本差出局ハ他監督區内ノ局ニ指定スルモ支ナシ但シ監督上必要ナル事項ハ關係局間ニ協

議スヘシ(四四、三、通業一二五一、神戸)

○號外及再版ハ發行回數ニ算入セス(四五、四、通業二〇九五、橫濱)

○内容ハ同一ナルモノハ表紙ヲ附シ一ハ表紙ヲ附セサルニ様ノ刊行物ヲ一種類トシテ認可支ナシ(四五、七、通業四一七五、東京)

○第三種認可ノ許否又ハ取消ニ關スル訴願ハ訴願法第一號ニ該當セス(三、五、通業二〇八四、私人)

○詩歌俳句ノミ掲載ノモノト雖第三種認可支ナシ(六、八、通業四二七六、北海道)

○第三種郵便物中形式ハ規定ニ適合スルカ如キモ實際ハ汎ク公衆ニ發賣セサルモノ若ハ發賣スルト稱スルモ實否疑ハシキモノ又ハ專ラ廣告ヲ目的トシテ發行スルモノノ如キハ規定ノ趣旨ニ背反スルニ付違則ノモノニ對シテハ相當措置スヘシ(六、一〇、通業四六四〇、各遞)

○府縣郡市公報ノ如キハ府縣郡令又ハ市條例等ヲ公示スルノ目的ヲ以テ發行シ普通ノ刊行物

第三種郵便物認可

二九



第三種郵便物認可

三〇

ト多少其ノ性質ヲ異ニスルモノト被認ニ付其ノ目的ニ相當且ツ發賣セラルヘキモノナルニ於テハ深ク事實ニ干涉セス認可差支ナシ(六、一〇、通業四六四〇、各遞)

○第三種郵便物ノ發行人若ハ約束郵便ノ申込人カ法人ナル場合ニ於テハ後ニ至リ其ノ代表者ニ異動アルモ發行人若ハ申込人變更ノ手續ヲ要セサル義トス(一五、四、郵業四〇四、各)

○認可規則第二條第四號中ノ「報道論議」ノ意義ハ報道又ハ論議ト解スヘキモノニシテ汽車汽船ノ旅行案内ノ類ノ如キモ事實一般ニ發賣セラレ且其ノ内容カ廣告ヲ主タル目的トナサル限リ第三種郵便物トシテ認可支ナシ(昭和二、七、郵業七六二號、各遞)

○第三種郵便物タル刊行物ニ掲載シ得ヘキ廣告ハ第三種郵便物認可規則第二條第四號ニ定ムル當該刊行物ノ發行人ノ政治、時事、農事、工事……等公共ノ性質ヲ有スル事項ノ報道論議タルヘキノ本質ニ反セサル限度ニ於テノミ之カ掲載ヲ認ムヘク其ノ如何ナル限度ヲ以テ本質ニ反スルモノト認ムヘキカハ遞信局ニ於テ個々ノ刊行物ニ付認定スルノ外ナキ義トス(昭和一〇、六、郵業四五七、通信社)

●約束郵便ノ承認

○定期ニ刊行スルコト確實ナルモノハ發行部數ノ多少ニ不拘約束郵便トシテ承認ス(四〇、九、横濱)

○第三種郵便物並郵便規則第二十四條ノ一ノ適用ヲ受クヘキ定期刊行物ニシテ發行人若ハ發行人ニアラサル者ヨリ二種以上合裝シ約束郵便トシテ發送セムコトヲ申出タル場合ハ承認支ナシ(四一、二、通業乙二二二七、新潟)

○約束郵便ノ料金低減ノ規定ハ其ノ刊行物カ終期ヲ豫定セサルモノニ對シテノミ適用ス(四一、一二、通業乙九八七四、東京)

○郵便規則第二十四條ノ一ニ依リ一旦承認ヲ與ヘタル約束郵便ハ同條ノ條件ヲ缺クモ其ノ承認ヲ取消ス迄ハ尙料金ノ低減ヲ受クルモノトシテ取扱フ前項ニ依リ引受ケタル郵便物(即チ一月ノ差出數カ規定ノ箇數ニ滿タサルモノ並發行ノ翌々月又ハ其後ニ至リ差出シタルモノ)ハ約束郵便取扱規則第十一條(約束郵便取扱承認規則第七條ト看ルヘシ)適用上差出ヲ休止シタルモノトス(四五、三、電報、大阪)



○規則第二十四條ノ一ノ第三種ニ非サル印刷物ニハ出版法第九條ニ列記ノ印刷物(届出ヲ爲ササルモノ)ヲ包含ス但シ通信文書ヲ除クハ勿論トス(六、一二、業二六八、東部)

○郵便規則第二十四條ノ一ノ差出數ハ一ヶ月數回發行スルモノハ其ノ當月中發行ノモノヲ合セ百通以上ノ義ニシテ一回發行ノモノ毎ニ百通以上ノ意ニアラス(同)

○市場取引値段表(葦蕪版摺)等ニシテ得意先ニ日々配付スルモノハ特定人ニ對スル通信文書トシテ取扱フヘキモノニ付約束郵便トシテ承認スルヲ得ス(同、西部)

○郵便規則第二十四條ノ一ノ適用ヲ受クル約束郵便物承認後之レニ第三種郵便物ノ認可ヲ受ケタル定期刊行物ヲ合裝差出サントスルトキハ承認規則第三條ニ準シ單ニ届出テシムルヲ以テ足ル義トス(昭和二、四、郵業三七八、仙臺)

○第三種郵便並郵便規則第二十四條ノ一ノ適用ヲ受クヘキ刊行物二種以上合裝差出ニ關スル疑義ノ件左記ノ通了知アレ(昭和二、九、郵業八三七、廣島)

一、二種以上合裝差出サントスル場合ニ於テモ承認ハ各別ニ受クルコト又合裝差出方ニ付テハ單ニ届出テシムルヲ以テ足ル尙届出後單獨發送又ハ一種ヲ缺クモ支ナシ、但シ長期

ニ亘ルトキハ變更ノ届出ヲ爲サシムルコト

二、(イ) 既往承認ノ第三種約束郵便ニ對シ郵便規則第二十四條ノ一ノ適用ヲ受クル刊行物ヲ合裝差出サントスル場合ハ後者ニ對シ一般ノ例ニ依リ承認ヲ受ケタル上合裝差出方届出テシムルコト

(ロ) 別種ノ刊行物(第三種及郵便規則第二十四條ノ一ニ該當セサルモノ)ヲ合裝差出サントスル場合ニ於テハ料金ノ低減ヲ受ケ得サル義トス

三、單ニ合裝差出方廢止ノモノハ其ノ旨届出シメ又其ノ一二種ニ付全然約束郵便取扱ヲ廢止セントスルモノナルニ於テハ承認規則第六條ニ依リ處理スヘキモノトス



●年賀郵便特別取扱開始期日

○取扱期日ノ繰上ハ離島等ニシテ連絡船便少ナク期日ノ繰上ヲ爲スニアラサレハ事實上特別取扱ノ適用ヲ享ケサル地ニ限り施行シ尙其ノ地域内ニ在ル一、二、特三局ハ集中局ニ指定セサルコトトシ同地域外ノ集中局ニ於テハ右繰上地域ヨリ送付ヲ受ケタルモノハ一般ノ開始期日迄自局ニ留置開始ヲ俟テ處理セシムヘシ(三、一一、通規八四九一、各遞)

年賀郵便特別取扱開始期日



●郵便物ノ事故處理

○郵便其ノ他ニ關シ犯罪又ハ事故發生ノ場合緊急取調ニ着手スルハ勿論事態重大ナルモノハ即時電報シ尙取調タル結果モ駿速報告スヘシ(三八、四、各一)

○郵便其ノ他取扱上事故通報方ニ關シテハ左記ノ通各殖民地トモ協定濟ニ付内地相互間及内地殖民地間トモ來七月一日ヨリ右ニ依リ處理スヘシ(一〇、六、郵一六六九、各、一一、九、郵二七八五、改正)

一、郵便、電信、電話、爲替、貯金、年金、恩給支給及簡易生命保險事務取扱上ノ事故ヲ取扱局所相互間ニ於テ通報スル場合ハ其ノ事故發生局所ノ監督廳經由トシテ發送スルコト但シ現金出納調査上ノ事故ハ所屬監督廳相互間ニ通報シ尙朝鮮總督府管内ニ交渉アルモノハ左ノ各號ニ依ルコト

- (イ) 朝鮮總督府爲替貯金管理所ニ於テ發見シタル事故ハ同所ヨリ所屬監督廳ニ通報スルコト
- (ロ) 朝鮮管内ノ事故ニシテ朝鮮以外ノ監督廳及貯金本支局ニ於テ發見シタルモノハ犯罪事故ニ付テハ朝鮮總督府遞信局へ犯罪ニ起因セサル事故ニ付テハ其輕重ニ應シ朝鮮

郵便物ノ事故處理



郵便物ノ事故處理

總督府爲替貯金管理所へ通報又ハ同所經由當該局所へ通報スルコト  
 二、緊急ヲ要スルモノハ總テ經由ヲ省略シ各監督廳ニ對シテハ同時ニ別途通報スルコト  
 三、別段ノ規定ニ依リ當然直接照復ヲ要スルモノハ其ノ手續ヲ了シタル上事ノ重大ナルモノハ事故發生局所ノ所轄監督廳へ通報スルコト

- 四、前各號ノ監督廳ハ左記區別ニ依ル
- (1) 内地 所轄遞信局
  - (2) 朝鮮及間島 所轄分掌局

(參照)

分掌局及分掌區域左ノ如シ

京城 京畿道、忠清南道、忠清北道、全羅北道、江原道(淮陽、通川、高城、襄陽、鐵原、平康、伊川)ノ各部ヲ除ク

釜山 慶尙南道、慶尙北道、全羅南道、江原道ノ内蔚珍部

元山 咸鏡南道、江原道ノ内淮陽、通川、高城、襄陽、江陵、三陟、金化、平康、伊川ノ各部

平壤 平安南道、平安北道、黃海道

清津 咸鏡北道、間島

- (3) 臺灣 臺灣總督府交通局
- (4) 樺太 樺太廳內務部
- (5) 南洋群島 南洋廳交通課
- (6) 滿洲 關東遞信官署遞信局
- (7) 遞信省在外局所 本省郵務局



●不能還付郵便物

○不能還付郵便物(脱出品ヲ含ム)在中品ノ賣却ニ付テハ左記ノ通處理アレ(五、六、通外七二〇六、各遞)

- 一、鹽(政府ノ賣渡シタルモノヲ除ク)及煙草ハ相當價格ニ依リ最寄專賣官署へ賣却スルコト
- 二、粗製樟腦(政府ノ賣渡シタルモノヲ除ク)ハ九州ニ於テハ熊本、鹿兒島及福岡專賣支局並ニ福岡支局長崎出張所ノ内最寄ノ專賣官署へ其ノ他ハ神戸專賣支局へ相當價格ニ依リ賣却スルコト
- 三、政府ノ賣渡シタル鹽及粗製樟腦ハ專賣官署ニ協議ヲ要セス直接之ヲ賣却スルコト
- 四、右各項ノ外ハ總テ一般ノ規定ニ依ルコト

○不能還付郵便物在裡煙草ニシテノ保管期間經過ノモノハ郵便法第十五條第三項ニ依リ國庫ニ歸屬セルモノニ付物品出納規程第十五條ニ依リ一旦保管物品中ヨリ「收得」ノ科目ヲ以テ受入タル上更ニ「保管轉換」ノ科目專賣局ニ無償引繼方取計ハレタシ(一五、一、需三三五七、東京)



不能還付郵便物

四二

○不能還付郵便物タル私製葉書ニ貼付ノ未使用切手ハ之ヲ剝取り郵便切手類トシテ一般ノ例ニヨリ處理スヘシ(一五、一二、郵業一二三七、仙臺)

○遺骨在裡不能還付郵便物ハ成規ノ期間保管スルモ交付方由出ナキ場合ハ一般不能還付郵便物ノ例ニ依ラス一件五圓程度ノ供養料ヲ支出シテ寺院ニ納骨スルハ支ヘシ但シ所要經費ハ既達豫算内ニテ支辨スヘシ(昭和四、八、郵業七五〇、東京)

○不能還付郵便物在裡物件ノ處理ニ關シテ左記了知アレ(昭和五、七、郵業六一八、名古屋)

- (1) 商品切手、未使用我國郵便切手、質札、質物通帳、銀行預金通帳、朝鮮銀行券、臺灣銀行券、外國紙幣、外國貨幣、前納通話券、返信料前納證書、爲替手形、約束手形、小切手、記名債券、記名株券、鐵道乘車券、乘船券、貨物引換證、倉庫證券、船荷證券、保險證券等ハ有價物トシテ取扱フヘキモノトス
- (2) 有價、非有價ノ決定ハ保管開始ノ日ニ依ルヘキモノトス
- (3) 有効期間ヲ有スル鐵道乘車券等カ保管中有効期間經過ノ爲無價物トナルトアルモ尙有價物トシテ保管期間中保管スヘキモノトス

●郵便料金還付

○代金引換受取人ニ到着通知ヲ爲サスシテ期間滿了還付シタルモノヲ其ノ後ニ於テ事實發見ノ場合ハ特殊取扱料金ハ勿論還付ニ要シタル料金ヲモ還付請求ニ應スルモノトス(三四、四、京都)

○引受當務者ノ過失ニ依リ在外本邦局所在地外ニ宛テタル小包ヲ本邦局留置トシテ引受ヲ爲ササリシトキ又ハ價格表記ヲ軍事郵便トシテ引受ケ若ハ外國小包ヲ料金其ノ他ノ點ニ付内地小包同様ノ取扱ヲ爲シタル爲途中局ヨリ返戻還付シタル場合差出人ヨリ該料金ノ還付請求アリタルトキハ之ニ應スヘシ(二九、八、東京)

○過納ノ普通小包郵便料ニシテ郵便官署ノ過失ニ基因セシコト明ナルトキハ之ヲ還付ス(四〇、四、通業乙二六六二、各一)

○私書函使用料改正ノ爲過超ヲ生シタルモノハ便宜還付ス尙月ノ中途ニ於テ料金改正アリタルモノハ其ノ改正當月分ハ日割額トスヘキモ計算上ノ繁ヲ省ク爲便宜月割額ヲ以テ徵收還付スルコトヲ得(四、九、通業三八七八、廣島)



郵便料金還付

四四

○郵便規則第八條第六號ニ依ル料金還付ノ請求ヲ損害賠償決定前求償權ヲ拋棄シテ爲スモノアルモ之ニ應スルノ限ニ在ラス(二三、九、郵二八五一、廣島)

○第三種郵便物認可手数料及私設郵便函使用料ハ法第二十四條ニ所謂「郵便ニ關スル料金」ニ包含セラルルモノトス(二三、四、郵第一〇二八、廣島)

○天候不良等ノ爲航空ヲ休止シタル場合既ニ引受タル航空郵便物ヲ差出人カ任意ニ取戻スコトアルモ差出人カ郵便官署ニ對シ有スル該郵便物上ノ利益ヲ拋棄シタルモノト看做ササルヘカラサルノミナラス別配達、配達證明等ノ特殊郵便物ノ取戻ノ場合ニ於ケル權衡モ有之ニ付航空取扱料金ノ還付請求ニハ應スルコトヲ得サルモノトス(昭和八、四、郵業一九二、廣島)

○窓口當務者ノ過誤ニ因リ郵便料金等ヲ還付スル場合ハ一々差出人又ハ納付人ヲ郵便局所ニ呼出ス向アルモ斯ル場合ハ差出人又ハ納付人ノ居宅ニ就キ行違ノ事情ヲ懇示シ夫々處理セラルル様配意アリタシ(昭和九、八、郵業五八三、各遞)

●郵便切手類及收入印紙配給局並配給區域ノ

指定變更(定員ニ増加ヲ要スル場合ヲ除ク)

○切手類配給局ハ一、二等局及特定三等局中ヨリ指定スヘシ(三、八、通業八五、各通)

郵便切手類及收入印紙配給局並配給區域ノ指定變更

四五



●郵便切手類及收入印紙賣捌所設置變更

- 電信取扱所ノ近傍ニ設置スヘキ賣下所ハ私設鐵道ニ於テハ可成該取扱所ヲシテ賣捌カシムヘシ(三三三、四、通郵甲二〇五六、各一)
- 停車場内ニ賣捌所ヲ設クル必要アルトキハ可成旅客待合所内ニアル商品店又ハ兩替店等ヲ選フヘシ(三九、七、通丙乙七九八二、各一)
- 裁判所構内等ニ於テ收入印紙ノ出張賣捌ヲ爲スハ違則ニ付必要アル場合ハ賣捌所ヲ設クヘシ(四二、七、高松)
- 現ニ本年三月以前稅務署ノ許可ヲ受ケタル者ト雖モ裁判所構内等ヲ賣捌所トシテ認可ヲ得タル者ノ外ハ其ノ出張賣捌ハ之ヲ承認セサルモノトス(四二、七、宇都宮)
- 軍艦内酒保ニ切手類賣捌所設置ノ件ハ船舶内設置ノ例ニ依ル尙他ノ局ヨリ買受方ニ關シテハ規則第十一條第四項ニ依リ處理スヘシ(五、八、通業三八二三、廣島)
- 私設郵便函設置ノ場合ニ於ケル切手類賣捌所ハ既設ノ郵便局若ハ賣捌所遠距離ナルカ又ハ

郵便切手類及收入印紙賣捌所廢止變更



特殊ノ事情アリテ買受上著シキ不便アルモノノ外ハ許可セサルモノトス(六、二、通業六  
七四、各遞)

○増加恩給遺族扶助料受給者ノ待遇方法ノ一トシテ郵便切手類賣捌方請願アリタルモ通信機  
關ノ利用、郵便函設置等ニ關聯計畫ヲ要スル爲收入印紙同様ノ特權ハ與シ難キモ切手賣捌  
人ノ選定上願意ヲ斟酌スヘキ餘地アルニ付テハ位置其ノ他計畫上適當ナル場合ハ可成之副  
フ様配意アレ(一一、五、郵一六二八、各遞)

●郵便切手類及收入印紙賣捌

○三等局長退職ノ際殘留切手中汚斑毀損ノモノアリテ買戻方請求ノ場合其ノ事實カ就職中ニ  
生シタルモノト認定シタルトキハ交換ノ上買戻ヲ爲シ得ルモノトス(三八、一、京都)

○切手類賣捌ノ際官衙若ハ出張員等ヨリ該支拂代金ノ證明方ヲ要求シタル場合ハ事務ニ支障  
ナキ限り便宜之ニ應スヘシ(四二、六、通業乙四九二五、各)

○褪色シタル印紙ハ賣捌不向トシテ交換支ナシ(四四、六、通業三五七六、東京)

○收入印紙賣捌廢業命令ニ關シ既得權ノ侵害ナルコト及其ノ命令書ニ理由ヲ記載セサルヲ以  
テ無効ナリトノ訴願ハ相立タス(元、一一、通業五二二三、私人)

○三等局ヨリ煙草印紙、賣藥印紙、證券印紙ノ交換請求アリタル場合ハ賣捌不向トシテ交換  
ノ上該印紙ハ燒却其員數ヲ報告スヘシ(三、三、通業九〇四、東部)

○不用手形用紙ノ交換買上ハ左記了知ノ上其ノ請求ニ應スヘシ(三、六、通業二〇七六、各)  
一、請求者ハ明治三十二年四月一日前ヨリ印紙類元賣捌人又ハ賣捌人タリシ者ニシテ引續



キ現ニ收入印紙賣捌人タル者ニ限ル

- 一、交換ノ請求ハ遞信局又ハ一、二等局ニ買上ノ請求ハ遞信局又ハ分掌局ニ限ル
- 一、交換買上シタル手形用紙ハ收八印紙ノ一種トシ保管出納スルコト
- 一、交換又ハ買上ケタル現品ハ焼却ノ上報告スルコト
- 一、交換又ハ買上價格ハ三十二年勅令第五十六號ニ依ル

○裁判所又ハ警察署等ヨリ切手印紙類不用ノ故ヲ以テ送付ヲ受ケタル場合ハ保管轉換ノ科目ヲ以テ受入レ賣捌用ニ充當スヘシ(四、一、横濱)

○山形商業會議所ニ於テ切手交換組合ナルモノヲ設ケ其ノ組合員モ相當價格ヲ以テ切手ヲ交付シ商取引上補助貨ニ代用セシムル計畫ヲ爲シタルモ右ハ賣捌規則ニ抵觸スル行爲ト認メ相當注意ヲ與ヘタル補助貨拂底ノ折柄他ニモ之ニ類スル施設ヲ爲スモノ發生スルヤモ難計ニ付注意アレ(七、一、業三三八、各遞)

○監獄法ニ依リ國庫ニ歸屬シタル郵便切手類及收入印紙ハ賣捌規則第十三條ニ依リ買戻ノ請求ヲ爲シ得ヘキモ其ノ額面少額ナルモノハ特ニ買戻ノ請求ヲ爲サス無償ニテ引渡ヲ爲スヘキ旨司法省ヨリ來牒アリタルニ付左記各項了知可然處理スヘシ(八、一一、郵三〇五一、

各)

- 一、監獄ニ於テハ明治四十三年二月訓令第一號ニ準シ種類員數ノ明細書ヲ添ヘ之ヲ最寄一、二等郵便局(遞信局所在地ニ在リテハ遞信局)ノ會計官吏ニ引渡スコト
- 二、前號ニ依リ引渡ヲ受ケタル局ハ保管轉換ノ科目ヲ以テ受入レ賣捌用ニ充當スルコト

○印紙切手類賣捌人ニ於テ公衆ヨリ一圓五十錢ヲ差出シ葉書百枚買受請求ニ對シ百一枚ヲ交付シ其ノ他多數請求セル者ニ對シテモ次ノ割合ニテ相當枚數ヲ餘計ニ交付スルハ郵便切手類及收入印紙賣捌規則第七條違反トス(一一、一一、廣島)

○切手類及收入印紙賣捌規則制定セラレタルニ付左記了知アレ(一二、三、郵第八六三、各遞)

- 一、特定以上ノ局區内無集配局ヲシテ賣渡ヲ行ハシムルハ従前ノ組合制度ノ弊ヲ除キ一面無集配局救済ノ趣旨ニ出テタルモノニ付成ル可ク無集配局ヲ指定セシムルコトトシ之カ實行上於テハ監督ヲ嚴ニシ改正ノ本旨ニ悖ラシメサルヲ要ス但シ無集配局少數ナルカ又ハ其位置偏在ノ爲受持集配局ヨリ買受クル方便利トスルモノ多キ場合ノ如キハ前記ノ指定ヲナササルコトヲ得
- 二、無集配局ノ受持ツヘキ賣渡區域ハ爲替振宛利便地ヲ標準トシテ可成買受上ノ利便ヲ考



慮スルコト

- 三、局及賣捌所ニ備フヘキ切手印紙ノ種類數量ハ其ノ局事務種類ニ應シ(例ヘハ電信局ニ葉書類ノ不要ノ如キ)必要種別ヲ概定シ不要ノモノヲ貯藏スルノ弊ナカラシムルト又賣捌ニ於テハ賣捌人タル名義ヲ濫用シテ不法賣捌ノ誘因ヲ爲サシメサル様取締ヲ要ス
- 四、買受回数ノ制限ノ外金額ヲモ制限スルニ至リタルハ從來ノ惡弊ヲモ考慮シタルモノニ付常ニ多額ノ需用アラサル局所ニ對シテ不時ノ多額ノ請求ヲ爲スカ如キコトナカラシムル様實況ヲ稽ヘ充分ノ監督ヲ要ス
- 五、普通三等局市外地ノ賣捌人集配手ヲ利用シテ買受ヲ依託スル場合ノ協定ハ集配上及傭人使役上ニ支障ナキ場合ニ限ル但シ事故ノ場合ニ於ケル辨償ノ責務ニ付テハ豫メ機宜ノ措置ヲ講スルコト
- 六、特定三等局以上ノ市外地賣捌人集配人ヲ利用シテ買受ヲ依託方申出タル場合ハ官損辨償等ノ責任ヲ負ハサル條件ヲ以テ應セシムルコトヲ得其取扱方ニ付テハ適宜ニ措置スルコト

○明治三十七年六月公達第五百十九號(無料通常爲替ト爲シ得ル金種目指定ノ件)第一號ニ依リ無料通常爲替ヲ發行シ得ルハ郵便ニテ送付スル場合ニ限ルモノトス(大正一一、三、大

阪)

○郵便切手類ハ郵便、電信、電話各所要ノモノニ對シ各其ノ受付時間中ノカ賣捌ヲ爲スヘキモノナルモ各種事務所要ノ切手類ヲ同一公衆溜ニ於テ賣捌ク場合ハ便宜各事務受付時間ヲ通シ賣捌クヘシ(一一、三、郵一二三四、各)

○印紙切手類ノ割引密賣等ノ取締ニ付テハ從來各局ニ於テモ事務繁劇ニ藉口シテ之レカ配給數量ニ深キ注意ヲ拂ハス請求アル儘漫然之ニ應スルノ嫌アルノミナラス事ノ性質上陰秘ノ間ニ行ハルル爲容易ニ發見シ得サル憾アルニ付爾今左記各項勵行ノ上斯ル事故ノ絶無ヲ期セラレ度(一五、六、郵業六四四、各遞)

- 一、配給局ニ於テハ切手印紙賣捌規則第十一條第五項ニ依リ事情已ヲ得スト認ムル場合ノ外所定局所外ヘノ賣渡ヲ絶對ニ爲ササルコト
- 二、地況又ハ既往ノ買受額等ヲ斟酌シ買受額ニ制限ヲ設クルコト
- 三、著シク制限ヲ超過スル買受ニ對シテハ其ノ事由ヲ疏明セシムルコト
- 四、配給局ヨリ毎月局所別割引賣渡高報告ヲ徴シ異例アレハ實況ヲ調査スル等常ニ監視ヲ怠ラサルコト
- 五、監察員等臨局ニ際シテハ印紙切手類ノ買受賣捌狀況ヲ嚴査スルコト



○印紙切手類割引賣捌高報告ニ關シテハ大正十五年六月郵業第六四四號通牒左記第四項ノ次第アルモ右ハ之ニ依リ賣捌狀況ヲ常時監視シ不正、密賣等ノ事故ヲ取締ラムトスル趣旨ナレハ土地其ノ他ノ事情ニ依リテハ配給局ヲシテ其ノ受持區域内ノ賣捌狀況ヲ監視セシメ容疑ノ場合ノミ報告セシムル等ノ方法ニテ所期ノ目的ヲ達スルニ於テハ爾今必スシモ各配給局ヨリ毎月割引賣渡高報告ヲ徴スル要ナキニ付了知アレ(昭和八、四、郵業二〇四、各遞)

○三等局等ニ於テ郵便はがき及郵切手帳用ノ包裝紙又ハ容器ヲ贈答用ノ爲トシテ實費又ハ無料ニテ分與スルコトハ認可相成難シ(昭和一〇、五、郵業三七〇、廣島)

○最近ノ調査ニ依レハ裁判所所屬司法代書人ニシテ収入印紙ヲ豫メ購入シ置キ代書依頼者ニ賣捌クカ如キ切手印紙賣捌規則違反ノ行爲ヲ爲スモノ尠カラス之等ノ行爲ニハ司法代書人ト三等局所長又ハ賣捌人トノ間ニ割引密賣等ノ不正事實潜在セル趣ノ處割引密賣等ノ取締ニ關シテハ客年郵業第六四四號通牒ノ次第モアリ此ノ際一層取締方勵行ト共ニ左記事項調査ノ上相當措置シ施設上ノ完備ト相俟ツテ不正行爲防止上ノ實效ヲ擧ケラレ度(二、二、郵業二〇六、各遞)

- 一、各裁判所附近ニ於ケル収入印紙買受上ノ便否
- 二、各裁判所構内収入印紙賣捌所設置ノ有無及設置ナキモノニ對シテハ其ノ要否

○料額印面ニ汚班毀損ナキ書損シタル官製葉書ヲ買集メ之ヲ廉價ニテ賣捌ク行爲ハ賣捌規則ニ抵觸スルモノトス(昭和九、七、郵業五一六、大阪)

○書損葉書ヲ加工シ交換スルコトヲ營業トスル行爲ハ郵便切手類及収入印紙賣捌規則違反ヲ構成スル場合アルニ付申出者ニ對シ注意アレ(昭和一〇、九、郵業七七四、東京)



●郵便切手類記號承認

- 記號ハ穿孔又ハ打出機械ニ依ルノニ限り押印ヲ包含セス(四一、一一、神戸)
- 記號ハ政府發行ノ葉書料額印面ニ使用スルモ支ナシ(四、一、通牒一五二、各)
- 穿孔切手ノ裏面ニ赤紙貼付方承認支ナシ(四二、五、通業乙四一二七、熊本)
- 記號切手ヲ使用シタル郵便物カ内部處理ノ關係上使用局以外ノ局員ニ依リ消印(函館局受持遞送手カ開函シタル郵便物ヲ青函連絡係員ニ引渡シ同係員カ引受處理ヲ爲ス場合等)サルコトアルモ後者ヲ以テ使用局ト謂フヲ得ス(昭和八、二、郵業五九、仙臺)



●代書人設置

○代書人規則ノ適用範圍ハ從來ノ如ク局構内ニ限ラサルモ常ニ業務監督ノ必要アルニ付特殊ノ事情ニ依リ不得止場合ノ外可成局ノ構内又ハ遠隔ナラサル地域ニ於テ業務ヲ行フモノニ限り認可ノ方針ヲ以テ處理相成度(八、一一、郵三六九六、各遞)



●郵便函雛形及設置方

○郵便函雛形改正ニ付テハ左記了知アレ(四一、一一、通業甲一〇八二、各一)

- 一、改正郵便柱函及同掛函設置方ニ就テハ追テ規定セラルヘキモ郵便柱函八一、二等局市内樞要ナル箇所ニ郵便掛函ハ其以外ノ箇所ニ設置方先以テ取計置カレタシ
- 一、既設郵便函ハ將來引換ヲ要スル時ヲ俟テ改正ノ分ニ引換ヘラレタシ但尙使用ニ堪フルモノヲ移設スル等ノ場合ハ此ノ限りニ在ラス
- 一、從來ノ雛形ニ依リタル在庫品ハ取交セ使用ヲ要スルモ可成之ヲ三等局ノ分ニ充用シ
- 一、二等局ノ分ハ努メテ改正ノモノニ依ルコトニ取計ハレタシ
- 一、事業用物品規程ハ此際改正セラレス追テ郵便函設置ニ關シ規定ノ際改正セラルヘキニ付其交付制限等ハ前各號ノ趣旨ニ依リ可然處理アレ
- 一、改正郵便函ハ總テ既達豫算ノ範圍内ニ於テ調製スルモノトス
- 一、十六年五月驛遞總官達梓規十六第六十九號二十年公達第百八十六號及二十六年公達第三百五號ハ本公達ニ依リ自然消滅シタルモノトス爲念
- 一、改正郵便函ノ構造ニ關スル説明書及分解圖案送付ス



説明書

- (一)改良ノ要旨ハ專ラ外觀上ノ形狀、製作ノ堅牢耐久、盜難ノ防備、費用ノ經濟等ニ在リテ存ス
- (二)叙上ノ目的ニ依リ設計シタル分解圖ハ別ニ添付スル所ノ如シ而シテ圖解ヲ以テ容易ニ解得シ難キ微細ノ點及形狀ノ整美ヲ一定セシメンカ爲ニ別ニ見本原型各壹個ヲ交付スヘシ
- (三)公達ニ於テ内部ノ構造ヲ明示セサルハ盜難防備ニ關スル差入口ノ改良研究等多年審查考量ノ結果比較的本構造ヲ以テ完全ナリト認メ選定發表シタル所ト雖モ未タ之ヲ以テ無缺ナリト云フヲ得ス故ニ本器以上ノ改良進歩ヲ期スル爲暫ク之カ規定ヲ設ケス一監督局若ハ一局區内ニ於テ隨時内部構造ニ改良ヲ加ヘ得ルノ餘地ヲ存シ倍々完全無缺ノ域ニ進歩セシメムトノ意ニ外ナラス若シ各局ニ於テ之カ構造ニ改良ヲ加ヘントスル場合ハ一應通信局ノ審査判定ヲ經ルヲ要ス但シ其ノ改良案ハ單ニ内部ノ結構ニ止メ外部ノ形狀ヲ變更セシメサル議ナリ
- (四)扉ノ錠前ハ如何ニ完全ノモノト雖モ數個ヲ通シテ同一ノ鍵ヲ使用スル場合ハ合鍵ヲ製作スルニ難カラサルハ東西已ニ其ノ揆一ナリトス故ニ本器ノ如キハ各局毎ニ多少ノ構造及鍵孔ノ大小ヲ異ニスルヲ盜難防備上幾分ノ效力アルモノト認メタルニ依リ

一定ノ構造ヲ示ササル所以ナリ

- (五)前項ノ理由ニ付使用局ニ於テハ(第一)構造簡單ニシテ開函ニ手數ヲ要セス且破損シ易カラサルモノ(第二)合鍵ヲ容易ニ製作シ得サルモノ假令ハ普通ノ錠前ノ如ク其ノ鍵孔ト内部ノ開閉器トノ間ニ之ヲ探知シ得サルノ障壁ナク一箇ノ錐又ハ曲リタル釘頭ヲ以テ鍵孔ニ挿入スルトキハ鍵ヲ要セスシテ開鎖シ得ルノ類ニ注意スルコト(第三)簡單ナル鍵ニテ開鎖シ得ルモノハ避クヘキコト假令ハ二段又ハ三四段ノ彈條ヲ有セサルモノニシテ丁字形又ハ平盤ナル鐵片ニ多少ノ曲折又ハ齒形ヲ附シタルモノハ其ノ合鍵ノ製作容易ニシテ盜兒ヲシテ開鎖セシメ易シ(第四)以上ノ諸點ヲ研究シテ可及的完全ト認ムルモノヲ採用スルヲ要ス
- (六)集配人ノ携帶スヘキ鍵及豫備又ハ檢査用トシテ使用スヘキ鍵ノ保管ヲ一層嚴重ニスルコト最モ緊要ナリ
- (七)便札ノ使用ハ改良郵便函ノ一區又ハ數箇ノ建設ヲ了スルマテ暫ク開函證印ヲ使用スルモ妨ナシ
- (八)本改正品掛函ハ約十圓以內柱函大ハ五十圓以內小ハ三十五圓以內ニテ東京大阪其ノ他鐵工場ノアル地ニ於テハ製作シ得ルモノト認ムルニ依リ第二項ニ依リ回付スヘキ内部ノ構造見本及外部ハ右ヲ鑄型トシテ適當ノ工場ヲ選定シ堅牢ニ製作スルヲ要ス



(圖解略ス)

○私設郵便函規則實施ニ付左記了知アレ(六、一、通規七五七四、各遞、七、一〇、郵一〇八一、改正)

- 一、私設郵便函ヲ私設スルモ郵便切手賣捌所ノ設置ハ別問題トシ必要ニ應シ許可ノコトトセラレタシ
- 二、規則第二條ノ設置場所變更ハ同一郵便區内ニ限ル主義ニシテ郵便區ヲ異ニスル變更ハ廢止ノ上新設ノコトトセラレタシ
- 三、規則第四條但書ニ依リ異式ノ郵便函ヲ設備セントスル者アルトキハ郵便物保安上ノ設備完全ナルモノニ限り許可セラレタシ
- 四、私設郵便函ハ可成一般ニ涉リ使用セシムルコトトシ若シ其ノ使用ヲ認容セサルモノアルトキハ其ノ旨郵便函ニ表示セシメラレタシ
- 五、規則第六條但書ノ申請ニ對シテハ事務上支障ナキ限り之ニ應セラレタシ此場合ニ於ケル規則第七條ノ料金ハ申請ニ依リ定メタル度数及其度数ニ對スル延里程ニ依ラレタシ
- 六、規則第七條但書ニ依ル料金ノ増加ハ主トシテ左ノ場合トス
  - 1 私設郵便函ノ投入郵便物カ特ニ多數ナル爲メ取集方法ノ變更ヲ要スルトキ

2 私設郵便函ノ郵便物取集ノ爲特殊ノ經費ヲ要スルトキ

七、私設郵便函ヲ廢止シ又ハ許可ヲ取消シタルトキハ規則第十五條ニ依リ私設者ヲシテ直ニ之ヲ撤廢セシムヘキモノナルモ設備場所ノ關係上容易ニ撤廢シ得サルモノハ一般ニ使用シ得サル様嚴重ニ封鎖セラレタシ

八、私設郵便函ノ検査及封鎖ハ可成受持局ノ監視員ヲシテ之ヲ執行セシメラレタシ

九、私設郵便函ノ料金ハ可成不納料金取立ト同一ノ方法ニ依リ集配人ヲシテ取立ツルコトニセラレタシ

一〇、設置場所變更ノ場合ニ於ケル取集延里程ハ現在ノ私設ヲ廢止シタルモノト見做シ更ニ新設スルモノトシテ各別ニ取集區劃ヲ作製シ其ノ兩者ヲ比較シ之カ延伸里程ニ依ルヘキモノトス

一一、二箇以上私設ノ場合ハ其ノ時期ノ同時タルト否トヲ問ハス其ノ取集延里程ハ他ノ私設ニ關係ナク各別ニ之カ取集ヲナスモノトシテ算出スヘキモノトス又其ノ設置場所變更ノ場合モ同一トス

一二、削除

○舊雛形ニ依ル木製柱函及掛函ハ既達豫算ノ範圍内ニ於テ朱色ペンント塗(但シ徽章文字ノ部分ハ金粉又ハ

郵便函雛形及設置方



白(白) トスルモ差支ナシ(六、四、通業三〇〇、各遞)

○木製柱函ノ差入口上部ニ防水機ヲ取付クルハ體裁ヲ損セサル限リ支ナシ(八、七、郵二三  
四四、各遞)

○遞信省ニ於テ郵便柱函設置ノ爲道路占用ノ件(大正十年一月三十一日九來第一四四號)  
遞信省ニ於テ郵便柱函設置ノ爲道路占用スル場合ニ於テハ別紙要項ニ依ルヘキコトニ協議  
候條御承知ノ上道路管理者ニ御通達相成度

郵便柱函設置ニ依ル場合占用ニ關スル協定

第一 郵便柱函ノ設置

- 一、郵便柱函ヲ道路ニ設置スル場合ニハ歩道(歩車道ノ區別ナキ場合)中其ノ效用ヲ妨ケ  
サル限リ一般交通ニ最モ支障少キ位置ヲ撰ヒテ設置スルコト
- 二、郵便柱函ヲ道路ニ設置スル場合ニハ其ノ位置ヲ郵便柱函ヲ所轄スル遞信官署ヨリ五  
日前道路管理者ニ通知スルコト
- 三、郵便柱函設置ノ爲道路ヲ掘鑿スルニハ作業上支障ナキ限リ可成其ノ範圍ヲ狭少ナラ  
シメ其ノ工事ハ可成之ヲ敏速ナラシムルコト
- 四、掘鑿土砂ハ交通ニ支障ナキ場所ニ搬出スルコト

五、道路埋戻ノ際ハ舊道路ノ構造ト同等以上ニ復舊スルコト但シ特別ナル工法ヲ以テ鋪

裝セル道路ノ路面工事ハ占用者ノ負擔ニ於テ道路管理者之ヲ爲スコト

六、郵便柱函設置ノ爲メ道路ニ關スル工作物竹木等ノ移轉伐採等ヲ要スル場合ニハ道路  
管理者ニ照會シタル上相當處理スルコト

七、前號ノ移轉伐採等ヲ爲ストキハ道路管理者ノ立合ヲ求ムルコト

八、前二號ニ依ル損害ノ補償金額ハ協議ノ上之ヲ定ムルコト

第二 道路工事ニ伴フ郵便柱函ノ移轉

一、道路改築ノ爲メ又ハ其ノ他ノ事情ニ由リ郵便柱函移轉ノ場合ニハ道路管理者豫メ遞  
信官署ニ協議スルコト

二、前號ノ工事ニ要スル費用ハ道路管理者又ハ道路ニ關スル工事ヲ執行スル者ヲシテ負  
擔セシムルコト

第三 現在ノ郵便柱函

現在道路ヲ占用スル郵便柱函ニシテ第一項第一號ニ適合セサルモノハ漸次改設スル  
コトトシ一應現在ノモノヲ認ムルコト

○同一市内ニ二以上ノ集配局アル地ノ各集配局並郵便物ノ受渡ヲ爲ス停車場設置郵便函ニ付

郵便函籠形及設置方



テハ左記方法ニ據リ投函竝ニ區分上ノ便宜ニ從ヒ設備方取計ハレ度（一三、五、郵一四〇一、各）

- 一、同一市内ニ集配局二以上アル地ノ各集配局ニ於テハ窓口郵便差入口ヲ「市内」ト「地方」ニ區別シ市内郵便物ノ宛地域ヲ表示シ置クコト
- 二、郵便物受渡ヲ爲ス停車場設置ノ郵便函ニシテ常ニ多數投入アル向ニ在リテハ上下便又ハ方面別ニ郵便函ヲ設備シ其ノ投入スヘキ方面ヲ簡明ニ表示スルコト
- 三、停車場設置郵便函一箇ノ場合ニ於テハ車中扱郵便係員ニ引渡スヘキ方面區分ヲ示シタル區分地域表ヲ函内適當ノ箇所ニ取付ケ開函遞送人取扱上誤區分ナキヲ期スルコト

○爾今郵便函ノ塗替建替等ノ機ヲ利用シ白色「ペイント」ヲ以テ柱函又ハ扉ト差入口トノ中間ニ掛函ハ前面ニ「神田局區内」ノ如ク其ノ受持集配局名及所在地名ヲ記載相成度（一三、五、郵一五一〇、各）  
右表示ノ位置ニ付テハ各局統一ノ必要モアリ貴局ニ於テ體裁及認識上適當ナル方針ヲ定メ區々ナラサル様取計ハレ度

○郵便柱函ノ構造、設置場所等ノ關係上扉ト差入口トノ中間ニ記載スルヲ不便若ハ不適當ト

スルトキハ其ノ前面「郵便Post」ノ文字ノ右側ニ受持集配局名、左側ニ所在地名ヲ記載シ若ハ兩側面看易キ箇所ニ局名及地名ヲ各並記相成度（一三、六、郵一八五六、各）

○電車特別取集郵便函ノ如ク取集受持局ト配達受持局ト其ノ所屬ヲ異ニスルカ如キ特殊ノ事情アルモノハ受持集配局名等ノ記載ヲ省略スルモ支ナシ（一三、九、郵二五四九、大阪）

○規定外ノ様式ニ依ル郵便函ノ調製ニ付テハ豫メ承認方申請アレ（昭和八、八、郵業第四七五、名古屋）

○郵便函ト全然同一ノ色彩及形狀ノ物體ヲ廣告塔トシテ利用スルコトハ公衆ヲシテ誤解セシムル虞アルヲ以テ斯種ノ申出ニ對シテハ一切許容セサルコトニ取計アレ（昭和一〇、一〇、郵業九四九、札幌）



○番號器ニ使用スル印肉ハ純黒色タルヲ要ス但シ特殊ノ事情ニ依リ黒色以外ヲ使用セントスルストキハ事由ヲ具シ認可ヲ受クヘシ(三、四、通業一一七九、各遞)

○局名長文ニシテ彫刻シ難キモノハ其ノ局名著名ニシテ郵便物送達上支障ナキモノニ限り適宜省略スルモ支ナク其ノ他ハ全部彫刻シ二行ニ分割三號以外ノ活字ヲ使用スルモ支ナシ(三、七、通業二三八六、東部)

○今回普通三等局ニ對シ番號器ヲ交付シ得ルコトトナリタルモ右ハ引受數一日平均三十通以上ノ局ヲ標準トシ既達豫算ノ範圍内ニ於テ調製交付セラレルヘシ(九、三、郵四八八、各遞一四、四、郵一〇八四ヲ以テ交付標準改正)

●書留引受番號器使用方

○番號器ニ使用スル印肉ハ純黒色タルヲ要ス但シ特殊ノ事情ニ依リ黒色以外ヲ使用セントスルストキハ事由ヲ具シ認可ヲ受クヘシ(三、四、通業一一七九、各遞)

○局名長文ニシテ彫刻シ難キモノハ其ノ局名著名ニシテ郵便物送達上支障ナキモノニ限り適宜省略スルモ支ナク其ノ他ハ全部彫刻シ二行ニ分割三號以外ノ活字ヲ使用スルモ支ナシ(三、七、通業二三八六、東部)

○今回普通三等局ニ對シ番號器ヲ交付シ得ルコトトナリタルモ右ハ引受數一日平均三十通以上ノ局ヲ標準トシ既達豫算ノ範圍内ニ於テ調製交付セラレルヘシ(九、三、郵四八八、各遞一四、四、郵一〇八四ヲ以テ交付標準改正)











○三等局ニ於テ自局經費ヲ以テ行囊封鉛使用方申出タルトキハ便宜貴官限り承認差支ナキコトニ決裁セラル(二、五、通業二六四二、各管)

○係員所屬局ニ交付スル目醒時計ハ係員寄泊所ニ設備セシムル趣旨ナリ(五、一一、通業四五三七、各遞)

○舊郵便編上卷中ニ纂録シタル郵便事業計畫規程及之ニ關スル指令通牒等ハ取外シ別ニ整理シ置カレタシ(六、五、通業一八三四、各遞)

○現金鞆ハ集金郵便、取集貯金及簡易生命保險ニ關スル現金並其ノ關係書類納入用トシテ交付セラルモノニシテ從來ノ經驗ニ依レハ是等ノ現金及書類ハ郵便物ト共ニ集配蝦蟇口ニ納メ又ハ集配人ノ衣囊ニ納ムルモノ等アリテ散亂、遺失等ノ事故ヲ誘發シ且容器一定セザリシ爲赤行囊又ハ自行囊ヲ代用スル等種々ノ不便アリシヲ以テ之ヲ救済セムトスルノ趣旨ナレハ現品到達ノ上ハ努メテ之カ運用ヲ圓滑ナラシムル様注意アレ(九、二、郵一七九、各遞)

○通信事業専用車輛ニ關シ左記ノ通内務省警保局ト協定濟ニ付了知アレ(一三、一〇、郵二

九四〇、各)

- 一、郵便物遞送用「サイドカー」「リヤカー」附自動自轉車ニ在リテハ其ノ乘務遞送人タルヘキ者ニ對シ相當期間練習ヲ爲サシメ考査ノ上合格者ニ一定ノ技術證明書ヲ附與スルニ於テハ自動車取締令ニ依ル運轉手免許證ヲ要セサルコト但シ技術證明書ハ遞送人ヲシテ常時携帯セシメ警察官吏ノ要求アルトキハ之ヲ呈示スルコト
- 二、通信事業専用ノ自轉車ヲ設備シタルトキハ車體適當ノ箇所ニ「」ノ徽章及局整理番號ヲ表示シ其ノ旨所轄警察署ニ通知スルコト

○遞信局長照會(大正十三年七月十一日) 内務省警保局長回答(九月二十九日)

(郵第一九四五號)

(警發乙第一四五二號)

當省令自動車取締令、道路取締令並廳府縣令ヲ以テ制定致居候自動車其ノ他ノ諸車取締規則等ハ郵便電信電話官署等官廳ニ對シテハ適用無之儀ニ候得共其ノ取締規則ニ規定スル事項ニ付テハ官廳亦之ニ準據スヘキ筋合ノモノニ可有之從テ之カ適用ナキヲ理由トシテ其ノ規定條項ニ背反スルノ行爲ヲ遂行スヘカラサルハ申進候迄モナキ儀ニ有之殊ニ近時交通倍々繁劇ヲ加ヘ自動車自轉車其ノ他ノ諸車ニ因テ生スル傷害事故頻々發生スルノ狀況ニ顧ミ危險防止上各地方ニ於テ交通取締ニ最モ留意致居候折柄可出來丈官廳ニ於テモ取締法令ノ規定ニ準據セラレ候様特ニ希望スル次第ニ有之候尤一般公衆ニ對スル危害防止上支障無之



ニ於テハ郵便電信電話官署等ノ諸車ニ對シテハ其ノ用務ノ性質ニ考ヘ運行ヲ容易ナラシメ  
敏活ノ活動ヲ阻害セサル様措置スヘキハ當然ニ有之候

○通信事業専用ノ自動自轉車ニ關シ内務省ト協議シ同省ヨリ地方長官ヘ通牒シタルモノ左ノ  
通り

一、標記ノ件ニ關シ昨年十一月四日附警發甲一二一號ヲ以テ及通牒置候處郵便物遞送用  
「サイドカー」「リヤカー」附自動自轉車ニ取附クル徽章及番號札並ニ乗務遞送人タルヘキ  
者ニ付與スヘキ技倆證明書ノ件ハ遞信省ニ於テ別紙公達ノ通實施スルコトニ相成候條詳  
細右ニ依リ御了知相成度候

追テ當省令自動車取締令ニ依リ車體検査ヲ受クヘキ「サイドカー」「リヤカー」自動自轉  
車ニシテ通信事業専用ノ車輛ニ對シテハ遞信官署ニ於テ之カ検査ヲ勵行シ地方長官ノ  
検査ヲ受ケサルコト、致度旨遞信省ヨリ申出ノ次第モ有之將來右車輛ニ對シテハ省令  
第五條第一項及第九條第一項ノ車體検査ハ之ヲ省略相成度尤モ運轉中ノ車輛ニシテ故  
障ヲ生シ又ハ郵便官署用ニ擬スルノ疑アリト認メタル等警察取締上特ニ必要アル場合  
ニ於テハ警察官吏ニ於テ停止ヲ求メ車體ノ取調ヲ爲スハ支障無キ儀ニ付爲念申添候  
(大正十四年十月警發甲第  
一七四號各廳府縣長官宛)

二、客年十月二十日附警發甲第一三一號ヲ以テ標記ノ件ニ關シ及通牒置候處右ノ内遞送人  
カ自動車ノ運轉ニ際シ規則違反ノ事實アリタル場合ニ於テハ警察官吏ニ於テ技倆證明  
書ノ提示ヲ求メ一面之カ事實ヲ遞信省ニ内報方申進置候得共右ハ爾今第一次監督官廳  
タル當該遞信局ニ内報相成度(大正十五年二月十三日警發甲第二二號)  
各廳府縣長官宛警保局長依命通牒)

○自動自轉車運轉手ニ對スル免許ノ要否ニ關シテハ大正十五年五月廣島局ニ對スル當局回答  
ノ次第アルモ右ハ假ヘ「リヤカー」附自動三輪車ト雖運轉手ノ免許ニ關シ自動車取締令ノ  
適用ヲ受ケサルモノニ對シテハ仍ホ自轉車及自動自轉車設備規程第七條ヲ適用セサル儀ト  
ス(昭和五、八、郵業七五五、各通)

○規定改正ノ趣旨ハ常時自轉車ニ「リヤカー」ヲ附シ使用シ又ハ「リヤカー」ノミヲ取  
外シ使用スルトキ當該「リヤカー」ニモ徽章及番號札ヲ取付ケ遞信事業専用ノモノナル  
コトヲ明確ナラシメムトスル趣旨ニシテ其ノ他規定中自轉車ニ關スル事項ハ凡テ「リヤ  
カー」ニモ適用スルコトニナシタルモノトス(昭和一〇、一一、郵業九六五、各)

○護謄和文廻轉通信日附印ハ試用中ノモノニシテ別段内規ノ如キモノナキモ大體第三種以下  
事業用品ノ調製及交付



ノ引受郵便物ニシテ消印ヲ要スルモノ一日平均九百通以上アル局又ハ蠶種郵便物ノ引受多數アル局ニ限り使用セシルル方針トス（大正一四、一二、郵業一〇八七、大阪）

○右通牒ノ次第アルモ杓子等消印上護謨和文廻轉日附印使用ヲ著シク便トスル郵便物多數アル局ニ對シテハ平均通數ニ滿タサルモ特ニ使用セシムルコトアルヘシ（昭和三、一二、郵業一二〇三、大阪）

○差向キ普通小包ノ引受數一日平均八十箇以上ノ局ニシテ特ニ廻轉日附印ノ設備ヲ必要トスル向ニ對シ交付シ得ルコトニ決裁セラル（昭和八、五、郵業二三九、各遞）

○左記郵便物用品ニ對シテハ當局ニ於テ指定又ハ認可シタル局ニ限り設備シ得ルコトニ規定セラレ居ルモ爾今貴局既達豫算内ニ於テ購入及維持シ得ル場合ハ貴局限り使用方ヲ指定又ハ認可シ支ヘナシ追而購入ニ際シテハ物品規程ノ關係上必ス當局經由ノコトニ取計アレ（昭和九、七、郵業五八〇、各遞）

自働押印機、行囊封緘器、廻轉日附印（和文用、歐文用）

○部内使用ノ封筒ハ其ノ紙質、形態、記載事項等全般ニ涉リ一般民衆ノ範トナルヘキモノト

思料セラレ候處部内使用ノ封筒中往々不透明ナル窓ノアルモノ及窓ヲ切開キタルモノ等アルハ遺憾ニ付爾今使用セシメサルコトニ配意アレ尙各種事務封皮ノ外部ヲ利用シ事業周知公衆教育等ニ關スル事項ヲ記載スルモノアリ趣旨ハ可ナルヘキモ郵便物外部ニハ取扱上等ノ見地ヨリ送達上必要ナル事項以外ハ可成記載セシメサルコトシ又事務用葉書ニ付テモ一般私製葉書ノ製式規定ニ照ラシ之ニ抵觸（郵便はがきノ文字ヲ要ス）セサル様併セテ配意アレ（昭和九、一一、郵業九〇八、省内、各遞、外地）



●三等局長會

- 法規研究會等ヲ組織スル場合ニ於テ他監督區内ノ局長等ヲ加入セシムヘカラス(四〇、八、通業乙六五三一、仙臺)
- 二管區以上ニ跨ル三等局長大會等ニ開催スヘカラス(四〇、九、通業甲七二七、熊本)
- 三等局長ヨリ管外協議會等參觀ノ申請アリタルトキハ所轄局ト協議ノ上認可支ナシ(四一、七、通業乙五七一、長野)
- 三等局長共同シテ局員ノ獎勵慰藉等ノ事項ヲ行ハムトスルトキハ總テ三等局長會規程ニ據ラシムルノ趣旨ナリ(二、八、通業四〇四六、各遞)
- 三等局長會規程ニハ特三局長ヲ包含スル儀ナルモ之ヲ普通三等局ト同一ニ律シ難キ場合モアリ其ノ局長會ニ加盟ト否トハ各管内ノ實情ニ適應スル様貴官ニ於テ相當指導アリタシ(二、九、通業四四〇三、各通)

●視 察

- 集配三等局長ヲシテ無集配三等局ヲ視察セシムルハ受取所ヲ三等局ニ變更シタル制度改正ノ主旨ニ反ス(二八、六、通法乙二二五四、各一)
- 三等局長相互局務視察ハ認容スヘカラス(四二、九、通業乙七三八、各一)



●庶務

- 機密事項及郵便物窃取ノ手段ヲ明記シ警戒方通牒シタルモノノ如キハ局報ニ掲載スヘカラス(三八、七、親通法乙一八二一、各一)
- 局報所載ノ達、伺令事項等ハ報告ト見做ス(三九、六、通法甲二九五九、各一)
- 申告及事故調査ノ場合事件複雑ニシテ短時日ニ處理シ難キモノハ其旨申告人ニ豫告シ尙差支ナキ限り處理ノ經過ヲ申告人又ハ被害者ニ通知シ調査終結ノ際ハ其ノ結果ヲモ通知スヘシ(四一、二、通業乙一〇四三、各一)
- 例規類纂及訂正書ハ發行ノ都度送付アリタシ(四、三、通業一一七三、各通)
- 遞送途中ノ郵便物盜難事件ニ付テハ極力防遏方配意相成度尙此等事件ノ經過手段等詳細ノ事項ヲ新聞紙上ニ公表セラルルトキハ自然此種ノ犯罪ヲ誘發スルノ惧アルニ付自今事故發生ノ場金ハ可成之カ公表ヲ避ケ尙新聞紙上ニモ掲載セシメサル様配意アリタシ追テ内務省ニ對シテハ同様ノ趣旨ニテ依頼置キタリ(五、二、秘一八九、各遞)



○郵便取扱所長ノ官印ハ三等局長ノ官印ニ準シ調製スヘシ(昭和六、二、郵業八四、廣島)

○三等局及取扱所印ニモ三等局長ノ官印ト同様文字ノ都合ニ依リ「印」若ハ「之印」ノ文字ヲ加刻スルモ支ヘナシ(昭和九、一〇、郵業七三八、廣島)

○（昭和九、一〇、郵業七三八、廣島）

○（昭和九、一〇、郵業七三八、廣島）

○（昭和九、一〇、郵業七三八、廣島）

○（昭和九、一〇、郵業七三八、廣島）

○（昭和九、一〇、郵業七三八、廣島）

○（昭和九、一〇、郵業七三八、廣島）

現業事務  
郵便物種別

郵便物種別



## 二 現業事務

### ●郵便物ノ引受關係

#### A 郵便物種別

##### 第一種 書狀

○特定人ニ對スル通信文トハ通信文ノ内容カ廣ク一般人ニ對スルモノニアラスシテ或ル定マリタル人(一人タルト數人タルトヲ問ハス且法人ヲモ含ム)ニ對スルモノヲ謂フ  
特定人ニ對スル通信文ナリヤ否ヤハ箇々ノ郵便物ノ内容ニ就キ郵便官署カ認定スルモノトス(昭和八、六、郵業四二四、私人)

○人民ヨリ警察署宛ノ願届書類ヲ駐在所ヨリ警察署ヘ移送ノ場合ハ第一種トス(四〇、三、通業乙一七四六、仙臺)

○タイプライターニテ印出セルモノハ印刷物ニアラス(四〇、八、通業乙六三三六、金澤)

郵便物種別(第一種)



郵便物種別(第一種)

八八

○公衆ヨリ郡役所ニ宛テタル願届書類ヲ公衆ヨリ役場へ、役場ヨリ郡役所へ送付スル場合ハ第一種トス又町村役場ニ宛テタル書類ヲ該役場ヨリ郡役所ニ送付スル場合ハ第一種ノ場合ト第四種ノ場合トアリ得ヘシ(四四、八、通業五一五八、長野)

○所得税申告書ヲ便宜上役場ニ於テ取纏メ發送スル場合ト雖モ四種ニアラス(一三、五、郵一三二七、私人)

○各名宛ヲ異ニスル數枚ノ通信文ヲ其ノ内ノ一名又ハ別異ノ名宛封皮ニ同封セルモノハ無封ニ非サル第一種トス(一五、一二、郵業一三五二、私人)

○符箋ヲ添付シタル文書ニシテ當該符箋カ特定人ニ對スル通信文ナルトキハ第一種有封書狀トシテ取扱フ(昭和八、一〇、郵業六九七、私人)

○大部分印刷シタル營業者ヨリ發スル文書ト雖モ不足荷物取調照會書又ハ過剩荷物取調照會書及其ノ一部分ニ回答文ヲ記入シタル文書ノ如キハ無封ノ書狀トシテ取扱得ス(昭和八、一〇、郵業七四八、各遞)

○聯隊區司令部ヨリ大部分印刷ノ無封書狀ニ各種令狀ヲ合封警察署長又ハ市長ニ送付スル場

合ハ無封書狀トシテ取扱得ス(昭和九、三、郵業一七一、高崎聯隊區司令部)

○印刷物及其ノ封皮面ニ賀詞ノ印章ヲ押捺シタルモノハ特定人ニ對スル通信文ノ性質ヲ有スト認メラルルヲ以テ第一種有封書狀トシテ取扱フヘキモノトス(昭和九、四、郵業一八〇、大阪)

○「紙芝居引換證」ニ何等記載ナキ場合ハ第四種印刷物ニ該當スルモ記載事項カ特定人ニ對スル通信文ノ性質ヲ有ストキハ第一種有封書狀トシテ取扱フモノトス(昭和九、七、郵業五三一、大阪)

◇各種ニ該當セサル物件

○生命保険株式會社又ハ同出張所ヨリ同社、所ノ封皮若干ヲ一括シ之ヲ社員出先ニ送付スルトキハ第一種トス(三九、九、通法乙八〇〇四、各一二、一〇、郵六三八九、私人)

○封皮ニ宿所氏名ヲ印刷スルモ印刷物ニアラス第一種又ハ小包トス(四一、八、通業乙六五九九、私人三九、九、通法乙八〇〇四、各)

郵便物種別(第一種)

八九



郵便物種別(第一種)

九〇

- 布製賣藥看板ハ第一種又ハ小包トス(四〇、六、通業乙五一一九、大阪)
- 蠶種出穀紙ハ博物學上ノ標本ノ外第一種トス(四五、四、通業一三七二、名古屋)
- 新聞通信社等ニ發受スル廣告用原版(鉛版)ハ商品見本ニアラス(三、二、通業七一九、各遞)
- 新聞通信社等ニ發受スル印刷ニ用ユル紙型ハ印刷物又ハ見本ニアラス(三、九、通業七〇三、東部)
- 醫師ノ投藥ハ商品見本ニアラス(四、七、通業四三五一、名古屋)
- 木片ノ表面ニ繪畫ヲ描出シタルモノハ郵便法第十八條第二項前段ニ依リ第一種郵便物ト同一ニ取扱フヘシ(昭和七、三、郵業一七九、名古屋)
- 未使用乗車券ハ第一種有封書狀ト同一ノ取扱ヲ爲ス(昭和九、七、郵業五四一、私人)
- 線香ノ包裝紙ノ裏面ニ送付者宿所氏名ヲ記載シ之ヲ發賣先ヘ送付スル場合ハ第一種ト同一ニ取扱フヘキモノトス(昭和八、一〇、郵業五六一、大阪)

○キヤラメル空箱ハ印刷物ト認メ得ス第一種トス(昭和八、六、郵業四一五、札幌)

○各種懸賞募集答案用紙ニ答案ヲ記入差出シタルモノハ業務用書類トシテ取扱フヘキ處懸賞應募ノ爲化粧品、藥品、食料品、菓子等ノ包裝紙又ハ空紙函等ニ答案ヲ記載シタルカ如キ特殊ノ物件ヲ用ヒタルモノハ無封ニ非ラサル第一種郵便物ト同一ノ取扱ヲナスヘキ義トス(昭和九、三、郵業一六二、各遞)

○空箱ノ一部又ハ内裝紙等ニ答案ヲ記載シタルモノハ之ヲ客觀的ニ觀察シ尙特定物件ノ送達ナリト認メラルモノハ第一種トシ然ラサルモノハ記載事項ノ内容ニ依リ種別ヲ判定スヘキ義ト了知アレ(昭和九、七、郵業五六〇、名古屋)

○神符ニ神饌ヲ同封シタルモノハ第一種有封書狀ト同一ニ取扱フ(昭和七、一二、郵業九〇八、伏見稻荷神社)

○ラヂオ聴取章ハ第一種ト同一ノ取扱ヲナスモノトス(昭和一〇、六、郵業四六五、熊本)

○會員徽章ハ第一種有封書狀ト同一ノ取扱ヲナスヘキモノトス(昭和一〇、七、郵業五三七、團體)

郵便物種別(第一種)

九一



◇郵便葉書力第一種トシテ取扱ハルル場合

- 郵便葉書ヲ第一種ト同一ノ取扱ヲ爲スヘキ場合ハ無封書狀ニアラサル第一種トス(四〇、六、通業乙四二四九、東京)
- 未使用通常葉書ノ裏面ニ圖畫等ヲ印刷セルモノヲ開封ニテ送付ノ場合ハ第一種トス(四二、一〇、通業七四五六、長野)
- 郵便葉書ノ表面ニ「應募原稿」ト記載ノモノハ郵便規則第十五條違反ニ付第一種郵便ト同一ニ取扱フ(一五、六、廣島)
- 繪葉書表面下部二分ノ一ニ線條ヲ劃セスシテ通信文ヲ記載シタルモノハ第一種トス(四二、一二、通業七八八四、高松)
- 往復葉書ノ發信用又ハ返信用ニ他物ヲ添付シタルモノハ第一種ト同一ノ取扱ヲ爲シ返信部料額額面ヲ料金納付トシテ消印スヘシ(四一、三、通業乙一四二六、高松)
- 使用済切手又ハ葉書ヲ開封ニテ差出ストキハ葉書ニ關シ業務用書類ト認ムヘキモノノ外第一種トス(三五、一、鹿兒島)

一種トス(三五、一、鹿兒島)

○切手類ハ一ノ證票ニシテ印刷物ニアラス第一種トシテ取扱フ(三五、七、多度津)

○葉書二枚ヲ糸ニテ結ヒタルモノハ第一種トシ二枚共消印ス(三八、八、通法乙四六〇九、各一)

○葉書ノ表面下部ニ商品ヲ多數列舉印刷セルモノハ第一種トス(四四、四、通業一五三六、神戸)(參考ニ裏面ハ通信文記載ノモノ)

○郵便葉書ノ表面ニキューピー人形ヲ表ハシ其ノ中ニ宿所氏名等ヲ記載シタル場合當該キューピー人形ヲ以テ一ノ商標(非登録ノモノ)ト謂フヲ得ス從ツテ右第一種ト同一ニ取扱フヘキ義トス(昭和七、七、郵業四八六、大阪)

○葉書型厚紙ノ内部ニ寫眞、繪畫ヲ密封シ其ノ表面ニ「ミシン」ヲ施シ且通信文ヲ記載シタルモノ及同様ノ形式體裁ノモノニシテ通信文ハ全部印刷シ且「ミシン」ノ個所上下附著シ他ハ切り開キタルモノハ其ノ何レノ場合モ第一種有封書狀ト同一ニ取扱フヘキモノトス(昭和五、一二、郵業一一四二、東京)



○未使用官製葉書ヲ第四種郵便物等他種郵便物ニ貼付シテ差出ス場合ハ郵便法第十八條第三項ニ依リ凡テ第一種有封書狀ト同一ニ取扱ハルルモノトス(昭和七、七、郵業五一〇、私人)

○未使用官製葉書ヲ貼り合セ或ハ之ヲ他種郵便物ニ貼付シ差出シタル場合當該料額印面ハ便宜有效トシテ處理スヘキモ此ノ場合郵便葉書ノ文字ヲ抹消スルト否トニ不拘第一種有封書狀ト同一ニ取扱フヘキモノトス(昭和九、五、郵業二二七、各遞)

○大正二年二月三日通業第二七五六號通牒左記一號ハ「郵便はがき」ノ汚班不明ノ程度ニシテ郵便葉書タルノ形式體裁ヲ没却セサルモノハ尙郵便葉書トシテ取扱ヒ然ラサルモノハ第一種有封書狀ト同一ニ取扱フヘキ義トス(昭和九、六、郵業三六四、東京)

○郵便葉書ノ表面ニ驛印ヲ押捺シタルモノハ第一種有封書狀ト同一ニ取扱フ(昭和九、一〇、郵業七五四、私人)

○通常葉書ノ表面ニ豫メ返信ニ使用スヘキ受取人宿所氏名ノ一部ヲ印刷又ハ記載シタルモノハ郵便規則第十五條第一項記載事項違反トシテ處理スヘキモノトス(昭和九、一二、郵業九四八、各遞)

○郵便葉書ノ表面ニ記載セル文字ヲ訂正ノ爲其ノ文字ノ上ニ紙片ヲ貼付シタルモノハ第一種郵便物ト同一ノ取扱ヲ爲スヘキ義トス(昭和一〇、四、郵業二五一、札幌)

◇異種合裝

○第三種郵便物ノ帶紙ニ「昭和三年十月十五日迄前金濟」ノ文字ヲ表示シタルモノハ第一種トシテ取扱フ(昭和三、八、郵業七二三、札幌)

◇無封書狀

○第三種乃至第五種郵便物ニ通信文ヲ印刷シ又ハ別ニ印刷シテ添付シタルモノハ異種合裝ノ例ニ依リ無封書狀トシテ取扱フ(四〇、四、通業乙二六六二、各一)

○無封書狀ノ外部ニ郵便規則第十條ニ規定スル以外ノ事項ヲ筆書シタル場合ニ於テモ明治四十年四月通業乙二六六二號通牒ノ趣旨ニ依リ異種合裝ノ郵便物トシテ尙無封書狀トシテ取扱支ナシ(昭和三、八、郵業六七七、名古屋)

○無封書狀又ハ印刷物ノ封皮ニ標語等ヲ印刷シタルモノハ合裝ノ例ニ依リ其ノ儘引受ケ支ナ



シ(昭和四、一二、郵業一一六五、東京)

○無封書狀ニ振替貯金拂込書用紙ヲ添付セルモノハ無封書狀ト印刷物トノ合装トス(四、七、通業三八三六、東部)

○甲乙各別ノ名宛トシタル全部印刷ノ書狀ニ通ヲ甲乙連名宛ノ封皮一通ニ納メ無封トシテ差出シタル場合ハ無封書狀トス(一二、一一、郵六二八、仙臺)

○營業者カ其ノ營業ニ關シ大部分印刷シタル通信文ヲ有スル私製葉書ヲ封皮ニ收メ開封ニテ差出シタル場合ハ第一種無封書狀トス(昭和八、一二、郵業七一四、私人)

○保險會社ヨリ保險掛金受領證ヲ掛金ヲナシタルモノニ宛テ差出ス場合ハ第一種トス(三八、七、東京)

○代理店ニ於テ取纏メタル保險申込書ヲ其ノ本店又ハ支店ニ發送スル場合ハ第一種トス(三九、四、通法乙三〇六五、各)

○右ノ場合當該保險申込書カ大部分印刷ト認メラルル場合ハ第一種無封書狀トシテ取扱支ナ

シ(昭和八、十一、郵業八四〇、東京)

○郵便規則第十四條ノ二第一項第二號ニ所謂「營業ニ關シ發スル」トハ必スシモ差出人タル營業者自身ノ調製シタルモノナルコトヲ要セサル義トス(昭和四、六、郵業四六四、廣島)

○納稅告知書ノ封皮表面ニ「この税金は何月何日限」ト記入セルモノハ尙無封書狀トス(一三、八、郵二五四〇、廣島)

○無封書狀ニ關スル規則改正ニ付左記了知アレ(六、七、通業二七二六、各)

追テ從來同指令ニ依リ通信文ノ性質ヲ有スル文書中業務用書類トシテ取扱ハレタルモノアルモ改正規則實施後ハ此等ノ文書ハ其名稱、形式ノ如何ニ關セス凡テ書狀(無封書狀ニ該當スルモノハ無封書狀トシテ取扱フヘシ)

記

一、文書中數字ノ部分(數字ノ部分ハ印刷筆書ヲ間ハス)ヲ除キ印刷部分カ一見半以上ト認メラルルモノハ大部分印刷シタルモノトシテ取扱フヘシ

一、公共團體ハ公共事務ヲ處理スルカ爲存在スル公法人ニシテ其種類多キモ大體ヲ舉示スレハ府縣郡市町村組合、水利組合、北海道土功組合、商業會議所、農會、耕地整理組



郵便物種別(第一種)

合、酒造組合、水産組合、畜産組合、重要物産同業組合、漁業組合、蠶絲同業組合等

ハ之ニ屬スルモノトス

一、營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ハ收入ヲ終極ノ目的トセサル法人若ハ團體例ヘハ祭祀、宗教、慈善、學術又ハ技藝等ノ如キヲ目的トシテ存立スル法人若ハ團體ヲ云フモノニシテ一々列舉スルコト能ハサルモ日本赤十字社、濟生會、共濟會、武德會、愛國婦人會、海員救濟會、報德社、森林組合、茶業組合、教育會、醫師會、辯護士會、政黨、在郷軍人團、衛生組合ノ如キハ其重ナルモノナリ其他ハ此ノ例示ノモノヲ標準トシテ取扱フヘシ

一、官公署、公共團體、社寺、學校又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ヨリ發スルモノノ中ニハ其吏員又ハ使用人ヨリ其業務ニ關シ發スルモノヲ包含ス

一、營業トハ物品動植物販賣業、金錢物品貸付業、銀行業、保險業、無盡業、製造業、運送業、瓦斯電力供給業、物品修理業、倉庫業、運河業、棧橋業、請負業、印刷業、出版業、寫眞業、貸席業、旅人宿業、料理店業、周旋業、代理業、仲立業、問屋業、信託業、船舶碇繋場業、貨物陸揚業、案内業、屠獸場業、遊藝業、礦泉浴場業、礦業、牧畜業、園藝業等其他普通ノ觀念ニ於テ營業ト認ムヘキ業務ヲ包含ス

一、營業者カ其營業ニ關シ發スルモノノ中ニハ營業者ノ使用人カ其營業ニ關シスルモノヲ

包含ス

一、營業ノ爲ニ發スルモノハ其營業上必要ナル店員ノ採用又ハ事務用式紙物品ノ購入等ニ關スルモノヲ包含ス

一、本條第一項第二號ノ文書中ニハ左記ノモノヲ包含ス尙此等ノ文書ハ形式名稱標題ノ如何ニ關セス其實質ニ依リ判別シ取扱フヘシ

イ、報知書ノ中ニハ商況報告書、營業報告書、契約報告書、荷物到着通知書其他營業ニ關スル事項ヲ報知スル各種ノ報告書、告知書、通知書又ハ通告書等ヲ含ム

ロ、送狀ノ中ニハ運送狀、物品送付書、貨物發送通知書其他貨物等ノ送付ヲ案内通告スル文書ヲ含ミ必スシモ商法ノ運送狀タルヲ要セス

ハ、契約申込書ノ中ニハ物品注文書、物品購入申込書、請負契約申込書其ノ他注文賣買等各種ノ契約申込書ヲ包含ス

ニ、契約ノ承諾又ハ拒絕書ノ中ニハ前記契約ノ申込ニ對スル承諾又ハ拒絕ノ意志ヲ表示セル文書ヲ含ム但シ契約證書ハ第四種郵便物ニ屬スルモノニシテ茲ニ包含セス

ホ、請求書ノ中ニハ物品代金ノ請求書其他各種ノ請求書ヲ含ム

ヘ、督促狀ノ中ニハ催告狀其他義務ノ履行ヲ促ス爲メ發スル文書ヲ含ム

ト、計算書ノ中ニハ出納計算書、貸借計算書、仕切書、年度計算書、營業勘定書、其他



物品金錢ノ出納計算書類ヲ含ム

チ、見積書ノ中ニハ請負工事豫算書其他工事又ハ製造業ノ請負ニ關スル見積書ヲ含ム  
リ、明細書ノ中ニハ支出金明細書、物品明細書其他物品ノ製造、在高等或ル事項ノ明細書及各種ノ説明書ヲ含ム

又、領收書ノ中ニハ代金受領證、物品領收書、其他物品金錢等ノ受領ヲ證明スル爲發スル文書ヲ含ム

一、營業者カ營業ニ關シ發スル文書ト雖勸誘書、依頼書、届書又ハ照會書等ハ無封書狀ニアラサル書狀トシテ取扱フ但シ此等ノ名稱アルモノ其ノ實質カ前項ニ示シタル文書ニ該當スルモノハ名稱ノ如何ニ拘ハラズ實質ニ依リ決定シ前項ノ例ニ依リ取扱フヘシ

一、本條第三項ニ依リ記載スヘキ差出人ノ資格ハ同條第一項第一號ノモノハ其名稱第二號ノモノハ其營業名ヲ記載セシムル儀トス但シ其資格ノ記載方完全ナラサルモ其資格者ト認メ得ルモノハ便宜其儘取扱フヘシ

一、本條第三項ニ依ル資格記載ナキモノハ無封書狀ニアラサル書狀トシテ取扱フヘシ

○郵便規則第十四條ノ二第一項第二號營業者ヨリ其ノ營業ニ關シ發スル報知書、送狀、契約申込書、契約ノ承認又ハ拒絕書、請求書、督促狀、計算書、見積書、明細書、領收書ハ通

信文ノ性質ヲ有スルモノ之ヲ全部印刷シタル場合ニ於テハ常ニ必スシモ其ノ特定人ニ對スルモノト見ル能ハサルヘキヲ以テ總テ當該郵便物自體ニ就キ其ノ種別ヲ判定スヘシ尙郵便物ノ性質上會員、組合員、株主、選舉有權者等ノ如キ廣義ニ於ケル特定人ニ對スル情報ヲ目的トスルモノナル場合ニ於テ其ノ内容カ通常ノ觀念ニ於テ特定人ニ對スル通信文ナリト明ニ解セラルルモノハ書狀トシテ取扱フヘキモノ之ニ反シ特定人ニ對スル通信文ナリト解スルヲ穩當ナラスト認メラルルモノハ書狀ノ性質ヲ有セサルモノトシテ取扱フヘシ  
追テ大正六年七月通業第二七二六號ハ郵便規則第十四條ノ二第一項後段ニ關スルモノトス  
(二四、九、郵業五二四、各)

○甲ヨリ特定人丁ニ對スル郵便葉書ニ依ラサル通信文ヲ甲ヨリ乙ニ、乙ヨリ丙ニ又ハ丙ヨリ丁ニ宛テ郵便ニ差出シタル場合ニ於テハ該郵便物ハ未タ其ノ通信文ノ特定人ニ到達スル中途ニ在ルヲ以テ孰レモ尙之ヲ第一種トシテ取扱ハサルヘカラサルモ其ノ特定人ニ到達スルニ於テハ最早該郵便物ハ書狀ノ性質ヲ失フヘキヲ以テ後ニ至リ其ノ儘再ヒ之ヲ郵便ニ差出シタル場合(例之公衆ヨリ甲村ニ宛テタル出生届又ハ奇留届ヲ甲村ニ於テ受附ケタル後更ニ其儘乙村ニ送付スル場合等)ニ於テハ之ヲ以テ新ナル特定人ニ對スル通信文ト認ムヘキ場合ノ外第四種トシテ取扱フヘシ尙一旦通信ノ目的ヲ達シタル郵便葉書ニ在リテモ右趣旨ニ依リ同様ニ取扱フヘシ但シ何等ノ包裝ヲ施サスシテ



差出シタル場合ニ於テハ明治四十一年七月通業第五四六五號通牒ニ依リ新ナル特定人ニ對スル通信文ト認ムヘキモノナルト否トニ不拘第二種トシテ取扱フヘキモノトス(一四、一〇、郵業七四二、各)

○株界觀測ノ情報ヲ印刷シタルモノハ大正十四年九月郵業第五二四號通牒後段ニ依リ所謂廣義ノ特定人ニ對スル情報ヲ目的トスルモノニ該當シ尙第四種トシテ取扱フノ餘地アルモ右情報ヲ差出人ニ於テ特ニ「信書」ト記載シ差出シタル場合特定人ニ對スル通信ノ意思表示ト認メラルルヲ以テ第一種無封書狀トシテ取扱ヒアレ(昭和九、八、郵業五六三、名古屋)

○左記ノモノハ大部分印刷シアラハ第一種無封書狀、筆書部分カ多キトキハ第一種有封書狀トス(昭和九、三、郵業一七〇、公署)

寄留者退去通知書

入籍者身元照會書

入籍通知書

民刑其ノ他身分關係通知書

種痘完了通知書

戶數割賦課資料通知書

○健康保險醫カ同組合長等へ送付スル「制限外齒科補綴承認申請書及意見書」等ハ郵便規則第十四條ノ二ニ該當セサルモノトス(昭和一〇、七、郵業六一七、熊本)

○商品見本ニ無封書狀ヲ合裝シタルトキハ無封書狀ト同一ノ取扱ヲ爲シ重量ハ三百五十グラムヲ超過スヘカラス(昭和一〇、九、郵業六六七、廣島)



## 第二種

- 私製葉書ノ相當料金トハ一般料金（一錢五厘）ヲ指スモノニシテ過不足共之ヲ認メス（二、八、通業三六一二、西部）
- 私製葉書ノ表面ニ「郵税先拂」ト記載セルモノハ爾今便宜其ノ儘第二種郵便物トシテ處理支ナキ儀トス（昭和三、六、郵業三六〇、各）  
追テ第一種無封書狀及第三種以下ノ郵便物ニ付テモ本趣旨ニ依リ處理スヘシ
- 私製葉書ノ重量ハ標準量目ヲ甚シク超過セサル限り多少ノ上下ハ支ナシ（四二、一〇、通業七三三四、各一）
- 「トーカー、カード」ト稱シ私製葉書ノ裏面ヲ蓄音器用小型「レコード」トナシタルモノヲ郵便ニ差出ス向アル處右ハ其ノ材料カ「セルロイド」等郵便禁制品ニアラス且私製葉書ノ制式ニ違反セサルモノハ其ノ儘第二種トシテ取扱支ナシ（昭和八、四、郵業一九五、各）
- 私製葉書ハ總テ紙製タルヲ要スヘキモノトス（昭和九、九、郵業七二二、朝鮮）



郵便物種別(第二種)

一〇六

- 再出葉書ハ第二種トス(四一、七、通業乙五四六五、各)
- 汚斑毀損ノ葉書ハ葉書トシテ形式體裁ヲ沒却セス且再用ニアラサルコト明瞭ナルモノハ有效トシテ取扱フ(二、二、通業二七五六、各)
- 官製葉書ノ表面約四分ノ一ヲ殘シ他ハ全部銀色塗料ニテ塗抹シタルトキト雖郵便葉書ノ文字及料額印面共何等不可ナク且再用ニ非スト確認シ得ル場合ハ郵便葉書ノ效力ヲ失ハサルモノトシテ取扱アレ(昭和七、九、郵業六七三、東京)
- 葉書ノ料額印面又ハ貼付切手面以外ノ部分ニ文字記號等ノ打出、打抜又ハ穿孔アルモノハ取扱上支障ナキ限り有效トス(四、一、通業四九〇一、各)
- 葉書ノ表面ニ「應募原稿」ト記載シタルモノハ規則第十五條違反ニ付第一種郵便物ト同一ニ取扱フヘシ(一五、六、郵業七二二、廣島)
- 「懸賞〇〇」「報告互選俳句」等ノ語辭ハ郵便規則第十五條第一項記載事項ノ範圍外トス(昭和九、七、郵業四八八、私人)

○郵便葉書表面記載ノ發送ナル文字ハ規則第十五條第一項左記第二號ニ謂フ慣用語トス(昭和二、一〇、私人)

○葉書ノ表面ニ黒枠ヲ附シタルモノハ支ナシ(元、九、通業五八六、横濱)

○郵便葉書(私製ヲ含ム)ノ裏面ニ切手ヲ貼付シタルモノハ尙葉書トシテ取扱フ(三四、四通郵乙三九一八、各四〇、四、東京)

○繪葉書トハ政府發行ノ葉書タルト私製葉書タルトヲ問ハス裏面ノ全部又ハ大部分ニ繪畫ニ描出シタルモノハ勿論筆蹟、印章、模様、色彩等ト雖專ラ愛玩ノ目的ヲ以テ描出シタルモノハ尙繪葉書ニ準シ取扱フ(四〇、四、通業乙三三九九、各)

○私製葉書ノ裏面ニ簡單ナル商品ノ寫眞ヲ印刷シ爾餘ノ空欄ヲ請求書又ハ通信ニ利用スヘキコトヲ豫定シ且表面下部モ同様目的ニ使用セムトスルモノハ繪葉書トシテハ取扱得ス(昭和一〇、六、郵業四四七、札幌)

○字繋キ(通信文)ニテ巧ニ繪畫ヲ表ハシタルモノハ繪葉書トシテ取扱フ(四〇、一〇、通業乙七八二二、高松)

郵便物種別(第二種)

一〇七



- 裏面全部又ハ大部分ニ繪畫模様等ヲ描出セルモノハ目的ノ如何ニ不拘繪葉書トシテ取扱フ(四一、八、通業乙五九三三、各)
- 陛下及殿下ノ御眞影刷出繪葉書ハ不敬ニ涉ラサル限り差支ナシ(三九、四、通法甲一九四五、各)
- 裏面ニ「守本尊大日如來」ト記載シタルモノハ繪葉書ニ準シ取扱フ(四〇、四、通業乙三二八四、高松)
- 表面下部ニ繪畫又ハ寫眞ヲ印刷シタルモノハ繪葉書ニアラス(三七、一、通庶乙二〇二六、私人三、一二、通業五三四六、名古屋)
- 繪葉書ノ裏面全部及表面下部二分ノ一以内ニ通信文ヲ記載シタルモノハ尙第二種トス(四〇、九、通業乙七一四五、各)
- 郵便葉書ニ表示スヘキ「郵便葉書」ノ文字ハローマ綴ヲ以テスルモ支ナシ(四〇、二通業乙一三四二、私人)

- 郵便規則第十八條ノ三第一項ニ謂フ「之ニ相當スル文字」トハ歐文ヲ含マサル儀ナルモ我カ國ニ於テ一般ニ使用セラルル英、獨、佛語等ヲ以テ記載シタルモノハ便宜支ナシ尙郵便葉書ノ外之等ヲ併記スルモ其ノ儘取扱支ナシ(昭和五、一〇、郵業九三四、名古屋)
- 葉書ニ送達上必要ナル注意ヲ附箋セルモノハ他物添付ト見做サス(三九、八、東京)
- 甲不在ナレハ乙ニ配達セラレタシトノ附箋ハ送達上ノ注意ト認メ他物添付ト見做サス(四〇、三、通業乙一七四六、仙臺)
- 葉書ニ送狀又ハ仕切書トナサムカ爲收入印紙ヲ貼付スルハ支ナシ(三八、八、他官署)
- 私製葉書ノ裏面ニ新聞紙ノ或ル模様ヲ切り採り貼付シタルモノノ如キハ郵便規則第十八條ノ第二項ノ「薄キ」範圍内ニ包含スルモノトシ第二種トシテ取扱フヲ妥當トス(五、五、通業一七一四、廣島)
- 葉書ニ貼付消印シタル切手ハ其表面ナルト裏面ナルトヲ問ハス再出ノ場合他物添付ト見做サス(四〇、四、通業乙二六六二、各)



○今般郵便葉書ノ様式變更ニ伴ヒ規則中改正セラレタルニ付テハ左記事項了知ノ上取扱フヘシ(一四、四、郵一〇四三、各)

追テ本通牒ニ牴觸スル從前ノ例規ハ總テ自然消滅シタルモノトス

一、暫定葉書(大正十二年十一月省令第九十)使用ノ場合ハ從前ノ通表面下欄ニ通信文其ノ

他ノ事項ヲ記載シ得ルコト

二、郵便葉書ノ表面又ハ裏面ニ郵便切手ヲ貼付シ料金納付若ハ記念ノ爲ニ消印セラレタル

モノヲ新ニ郵便ニ差出ストキハ他物添付ト看做サルコト

三、郵便葉書ニ郵便局ニ對シ送達上ノ注意ヲ記載セル符箋ヲ付シタルモノハ他物添付ト看

做ササルコト

四、規則第十五條第三項ノ規定中ニハ往復葉書ノ返信部ニ往信ノ際收入印紙貼付ノ場合ヲ

モ包含スルコト

五、繪葉書ノ表面ニ線條ヲ畫シ通信文等ヲ記載スル場合下部二分ノ一以内ノ見解ハ一見二

分ノ一ト認ムル程度ヲ以テ差支ナキコト

六、郵便繪葉書ノ裏面全部及表面下部二分ノ一以内ニ通信文等ヲ記載シタルモノハ尙第二

種トシテ取扱フコト

七、政府發行ノ葉書タルト私製葉書タルトヲ問ハス其ノ裏面ノ全部若ハ大部分ニ繪畫ヲ描

出シタルモノハ目的ノ如何ニ拘ラス郵便繪葉書トシテ取扱フヘキハ勿論筆蹟、印影、模様、色彩等ト雖專ラ之ヲ愛玩スルノ目的ヲ以テ裏面ノ全部若ハ大部分ニ印刷、筆記又ハ押捺シタルモノハ尙郵便繪葉書ニ準シ之ト同一ノ取扱ヲ爲スコト

八、郵便葉書(繪葉書及暫定葉書ヲ除ク)ノ表面下部ニ商品ノ名稱、業體及圖形等ヲ記載シタルモノハ

左記ニ依リ處理ノコト

1 確實販賣、品質本位、調製迅速等廣告的語辭ヲ記載シタルモノ其ノ他取引銀行名又

ハ多數ノ商品名等ヲ列記シ其ノ形式上普通ノ觀念ニ於テ差出人ノ身分、職業若ハ稱號ノ表示ト看做スヘカラサルモノハ無封書狀ニ非サル第一種ト同一ノ取扱ヲナスコ

ト  
2 何々原料直輸入商、何々製造販賣業、營業科目(何々)等數種ノ業體又ハ商品名ヲ記

載シ又ハ何々會社代理店、同特約店、製品一手販賣元等ト記載シアルモ總括シテ差出人ノ營業ヲ表示シタルモノト認メ得ラルルモノハ第二種トシテ取扱フコト

3 發信番號、電話番號、振替貯金口座番號、電略(何々)等ノ文字又ハ之ヲ圍ムニ下字形ヲ以テシ若ハ差出人宿所氏名ニ繪畫又ハ圖案ト認メラレサル程度ノ輪廓ヲ有スル印章ヲ使用シタルモノ及本店出張所工場等ノ所在地名ヲ列記シタルモノト雖慣習上郵便物ノ表記ニ添記セラルルモノナルトキハ便宜第二種トシテ取扱フコト

郵便物種別(第二種)



### 第三種

○第三種外部ニ「乞送金」ト記載シタルモノハ刊行物其物ニ對スル送金要請ト認メラルル場合ニ限り規則第十條第一項第五號ノ慣用語ト看做シ取扱フ（三七、一〇、通庶乙二三四二〇、東京）

○第三種外部ニ規則第十條第一項又ハ第二項第一、二號以外ノ事項（通信文ヲ除ク）ヲ印刷シタルモノハ第三種ト第四種トノ合裝トス（三九、五、通法乙二七九四、各）

○第三種郵便物ノ封皮又ハ題號ノ傍ヘ「納本」ノ文字ニ「有新」ト附加シタルモノハ仍ホ郵便規則第十條第一項第四號ニ謂フ送達上ノ慣用語ト看做シ處理支ナシ又第三種郵便物ノ封皮ニ印刷シタル其ノ題號、第三種郵便物認可ノ文字及其ノ年月日ハ孰レモ規則第十條第一項左記各號以外ノ事項トス（昭和三、一〇、郵業九九一、名古屋）

○第三種郵便物ノ封皮面ニ「記事掲載」「廣告掲載」等四字以内ノ語辭ヲ記載セルモノハ規則第十條一項第四號ノ慣用語ト看做シ支ナシ（二三、八、郵二五四一、大阪）

郵便物種別（第三種）



郵便物種別(第三種)

一一四

○第三種郵便物ノ帶紙ニ「昭和三年十月十五日迄前金濟」ノ文字ヲ表示シタルモノハ第一種トシテ取扱フ(昭和三、八、郵業七二三、札幌)

○第三種乃至第五種郵便物ノ外部ニ特許番號竝ニ開封上ノ注意ヲ記載シタルモノハ孰レモ郵便規則第十條第一項ノ外部記載事項以外ノモノトス(昭和一〇、三、郵業二三四、札幌)

○郵便規則第十九條ノ二ニ於テ賣捌人トハ新聞取次店ノ如キ新聞紙ノ賣捌ヲ業トスル者ヲ指稱ス(一五、九、郵業一〇一三、名古屋)

○郵便規則第十九條ノ二ニ於テ新聞紙ト稱スルハ官報及通信社ヨリ發行スル通信ヲモ含ム儀トス(一五、一〇、郵業一〇九八、各)

○各地新聞社ノ發行スル地方版ノミヲ郵送スル場合ハ四十年十一月通業乙第八七九號通牒ノ趣旨ニ依リ尙第三種トシテ取扱フ(一五、一、郵業一二八、名古屋)

○近來各地ノ新聞社ニ於テ實施スル地方版ヲ之ノミ單獨ニ差出シタル場合ニ於テハ該地方版カ本紙ノ一部トシテ發行セラレタルト又ハ附録トシテ發行セラレタルトニ拘ラス郵便規則第二十條ノ形式(本紙ノ名稱、發行年月日、第三種郵便物認可ノ文字)ヲ備ヘ且第三種郵便物タル主要部分ヲ有スル場合ニ限り仍ホ第三種トシテ取扱フ(昭和二、二、郵業一七九、各)

○勸業銀行月報號外ハ其記載事項(當籤番號)カ緊急報道ヲ要スル公共的事項ナルニ付號外トシテ取扱ヒ差支ナシ(四二、八、通業乙六四九六、東京、三、六、通業二四二六、東部)

○法令ノ公布ハ時事ニ關スル事項ノ報道ト解シ得ヘキニ付緊急公布ヲ要スト認ムルモノハ縣公報(第三種認可)ノ號外トシテ取扱ヒ支ナシ(三、八、通業三〇九六、東部)

○貴衆兩院議員選舉ノ際候補者ノ政見ヲ新聞號外トシテ差出スハ支ナシ(四、二、通業五五一、各遞)

○第三種ニ廣告ノミ印刷セル附録ヲ添付シ該廣告ヲ廉價ニ郵送セムトスルモノナルコト明カナル場合ハ附録トシテ取扱ハス(四二、一一、通業八〇三九、東京)

○第三種ノ附録ノミヲ郵送スル場合ハ第四種トス(三四、三、京都)

郵便物種別(第三種)

一一五



○新聞ノ附録トシテ寫眞ノミヲ印刷シタル冊子ハ附録トシテ郵送スルヲ得ス(一一、八、電報大阪)

○附録ハ臨時ニ刊行スル定期刊行物ノ號外ニハ添付スルコトヲ得ス(昭和五、一一、名古屋)

○「トーカー」寫眞板ハ第三種郵便物ノ口繪又ハ附録トシテ扱ヒ得ス(昭和八、一二、郵業八六九、東京)

○定期刊行物ノ附録ニハ郵便規則第二十一條所定ノ事項ヲ表示セシムレハ足ル(昭和九、九、郵業五四〇、東京)

○小供用繪本ノ表紙ヲ蓄音機用「レコード」ト爲シタルモノニシテ其ノ用材カ「セルロイド」ノ如キ郵便禁制品ニ該當セス且普通ノ觀念ニ於テ繪本ノ表紙ト被認モノハ郵便規則第二十三條又ハ同第二十四條ノ二ニ依リ記事ニ關スル物品ヲ貼付シタルモノトシテ取扱支ヘナシ(昭和二、一、郵業二一六、各遞)

○第三種ヲ發行日以前ニ差出スモノアルトキハ印刷又ハ納本月日ヲ發行月日ト看做シ取扱ヒ差支ナシ(四二、一〇、通業七六七、各一)

○郵便規則第十九條ノ二ニ依リ差出ス日刊新聞紙(官報及通信社ヨリ發行スル通信ヲモ含ム)ノ取扱方ニ付左記事項ヲ了知ノ上行違ナキ様留意スヘシ(昭和二、三、郵業二七六、各)

一、同一題號ノモノ一部ヲ一通トシテ差出ス場合ニ限ルコト  
二、左ノモノヲ合裝シ一部トシテ差出ス場合ハ發行日附カ何レモ同一タルヲ要スヘキコト  
朝刊、夕刊、附録、號外

○官報號外ニ印刷スヘキ發行年月日ハ刊行物ノ最初及最終ノ頁面ニノミ印刷シ得ルモノトス(九、一、郵一六四、各)

○第三種ノ認可ヲ受ケタル郵便物ノ見本ヲ遞信局ヘ送付スル場合ハ有料トス(昭和九、四、郵業二八六、私人)

○第三種ハ一部ヲ缺損スルモ規則第二十條ノ形式ヲ備ヘ且第三種郵便物タル主要部分ヲ有スルトキハ第三種トシテ取扱フ其他ノモノハ其形態ニ依リ種別ヲ判定スヘシ(四〇、一一、通業乙八七九九、各)



- 低料ノ適用ヲ受クヘキ新聞紙二部以上ヲ合装シタル場合並低料ノ適用ヲ受クヘキモノト然ラサルモノトヲ合装シタル場合ハ孰レモ一般料金ヲ徴收スヘキ儀トス(一五、九、郵業一〇一四、朝鮮遞信)

第四種

- 第四種ニ屬スル印刷物トハ同一形象ヲ多數複寫シ得ヘキ機械的又ハ化學的手段ニ依リ刷成セラレタル文書圖畫又ハ之ニ準スヘキモノニシテ第一種乃至第三種若ハ有價證券ニ屬セザルモノヲ謂フ(昭和五、五、郵業四六一、名古屋)
- 單ニ選舉人ノ投票上ノ注意事項ヲ印刷シタルモノハ特定人ニ對スル通信文ト解セス第四種トス(一三、六、郵一六二二、廣島)
- 私製葉書ヲ葉書トシテ使用セス其儘發送ノ場合ハ印刷物トス(三八、五、通外乙一三四四、私人)
- 單ニ用紙トシテ送付スルモノト雖其ノ印刷面カ單純ナル野紙ノ類ト其ノ趣ヲ異ニスルモノハ印刷物トシテ取扱フ(五、四、通業一一六七、名古屋)
- 廣告類ヲ印刷セル爲單純ナル野紙ノ類ト其ノ趣ヲ異ニスル程度ノモノハ第四種印刷物トシテ取扱フ(一三、八、郵業二四二一、私人)



○茶菓券ハ第四種印刷物トス(昭和九、三、郵業九五、大阪)

○「紙芝居引換證」ハ第四種印刷物ニ該當ス(昭和九、七、郵業五三一、大阪)

○第三種ノ附録ノミヲ郵送スル場合ハ第四種トス(三四、三、京都)

○葉書型紙片ニ賀詞、商品名及商品名ヲ織込ミタル和歌等ヲ印刷シタルモノニシテ内容全體ヨリ看テ廣告ト認メラルモノハ第四種トシテ取扱支ナシ(昭和八、二、郵業八一、東京)

○盲人用點字書ニシテ其ノ種別判別シ難キ場合ハ印刷物トシテ取扱フ(六、七、通業二七二六、各)

○寺院等ヨリ其ノ檀家等ニ宛テ「佛供米」「御供米」「御祈禱志納」等其ノ他ノ文字ヲ印刷シタル喜捨袋ヲ郵便ニ差出ス場合ハ便宜印刷物トシテ取扱フ(昭和四、九、郵業八〇二、各)

○貯金證券ハ第四種トス(五、七、通業三一八八、西部)

○明治三十三年十二月遞信省告示第五百八號左記第二號ノ文字又ハ繪畫ヲ印刷シタル當用日

記ノ類ニ鉛筆等ヲ裝置シタルモノハ尙第四種トス(四二、一〇、通業七三八三、各)

○現金請求書、現金支拂傳票、貯藏材料傳票、支拂勘定傳票及勘定ノ轉換等ノ各用紙ハ單ナル罫紙類ト異ナリ印刷物トシテ取扱支ヘナシ(昭和九、六、郵業四三九、東京)

○印刷シタル學校ノ入學規則書ニ「當分入學金不要」ト護謨印ヲ押捺シタルモノハ第四種トシテ取扱支ヘナシ(昭和九、一、郵業二〇、東京)

○新聞紙ニ掲載シタル懸賞募集廣告ノ回答規定ニ依リ回答事項中ノ一ニ「〇」印ヲ附シ爾餘ノ各項ニ線ヲ引キ之ヲ募集主ヘ送付スル場合ハ郵便規則第十條第二項第二號ニ謂フ「點、線、批評ノ類」ニ該當セス新聞紙ヲ用紙トスル懸賞回答即チ判斷表示ノ文書ニシテ特定ノ人ニ對スル通信文ノ性質ヲ有セサル業務用書類ニ該當シ第三種郵便物トシテハ取扱得ス(昭和一一〇、五、郵業三五五、東京)

○開封シタル社寺ノ守札ニ僅少ノ洗米又ハ木片等ヲ添付シ若ハ些少ノ作爲ヲ施シタルモノハ便宜第四種トシテ取扱フ(五、一〇、通業五〇四一、各)

○繪畫、印刷物等ハ些少ノ作爲ヲ加ヘタルモノモ第四種トシテ取扱ヒ支ナシ但シ特殊ノ裝飾



郵便物種別(第四種)

一一三

ニシテ市價ヲ有スルモノハ此ノ限ニ在ラス(四〇、一一、通業乙八九九七、各)

○印刷物ノ内容中日日、金額等ニ印判ヲ用ヒタルモノハ印刷ト認ム(五、八、局報、臺灣)

○名刺ニ記載ノ成語四字以内ナルニ於テハ其ノ意義ノ如何ヲ問ハス總テ第四種トシテ取扱支ナシ(三八、三、通業甲六四二、各)

○鑑札ハ紙製ニ限ラス木製、革製、金屬製ト雖業務用書類トス(四〇、九、通業乙七〇五一、高松)

○昭和四、九、郵業第八〇二號通牒中佛供米等ノ文字ヲ筆書シタル場合ニ於テモ右ト同趣旨ニヨリ業務用書類トシテ取扱支ナシ(昭和四、九、郵業八七六、札幌)

○乗車券類ハ使用済若ハ見本消印附ノ如ク效力ヲ有セス且郵便法規上謂フ印刷物若ハ業務用書類ニ該當ノモノニ限り第四種トシテ取扱フ(昭和二、三、郵業二五六、私人)

○投票用紙ニ被選人ノ居所氏名ヲ記載シ新聞社等へ送付ノ場合ハ業務用書類トス(三八、五、東京)

○雜誌等ニ綴込アル各種懸賞募集答案用紙ニ答案ヲ記入シタルモノハ業務用書類トス又特定ノ答案用紙ニ依ラス普通ノ用紙ニ全部筆書シタルモノニ付テハ一般業務用書類ニ於ケルト同様當該郵便物至體ニ付判定スヘキ儀トス(昭和四、五、郵業四四一、東京)

○通信文ノ記載ナキ印刷セル用紙ニ品名、金額等ヲ筆記セルモノハ業務用書類トス(四、九、通業三七九七、新潟)

○通信文ノ記載ナキ使用済葉書ハ第四種トス(三九、九、通法乙六二三六、各)

○未使用郵便葉書類面又ハ單ナル紙片(私製葉書ヲ含ム)等ニ貼付シタル郵便切手ニ特殊日附印又ハ風景入日附印ヲ押捺シタルモノハ總テ第四種トシテ取扱支ナシ(昭和七、二、郵業八四、各)

○集印帳ニシテ既ニ印章カ押捺シアルモノハ他ノ大部分カ白紙ノ場合ト雖モ第四種トシテ取扱ヒ支ヘナシ尤モ印章ノ押捺ナキモノ又ハ未使用切手ヲ添付シタルモノハ此ノ限りニアラス(昭和一〇、一一、郵業一一三四、各遞)

○航海中ノ海軍所屬艦船又ハ商船ヨリ水路部宛發送ノ「航海報告」ハ其ノ標題ニ於テ特定通

郵便物種別(第四種)

一一三



郵便物種別(第四種)

一二四

信ナルカ如キモ其ノ實質ハ航路、海洋、氣象、港灣等ノ狀況ヲ記入シタル一種ノ航海日誌又ハ航海記録ナルヲ以テ特ニ水路部等ニ對スル特定通信ヲ記入セサル限り仍ホ業務用書類トシテ處理支ナシ(昭和七、一〇、郵業七七九、各)

○種痘成績表ハ業務用書類トス(昭和九、三、郵業一七〇、公署)

○「戶籍事務」「徵兵事務」等ノ如ク一般ニ當該郵便物送達上ノ慣用語ト認メラルモノハ郵便物外部ニ記載スルコトヲ得(昭和九、四、郵業二二三、公署)

○甲乙ノ宿所氏名ヲ記載シタル寫眞二葉ヲ一封筒ニ納メタルモノハ便宜第四種トス(四〇、一〇、通業乙八二一九、東京)

○寫眞ハ物品送達ナルヲ以テ明治四十年十月通業乙八二一九號東京局ニ對スル當局回答ニ依リ便宜ノ取扱ヲ許シタルモ信書ノ送達ニ統テハ之ヲ援用スルコトヲ得ス但シ第三種以下ニ對シテハ準用スルモ支ナシ(大正一二、一一、郵六八二八、仙臺……前項參照)

○郵便法第十八條ニ謂フ寫眞ニハ映畫フィルムハ含マサルモノトス(昭和五、八、郵業七〇五、私人)

○郵便規則第二十四條ノ一ノ適用ヲ受クル約束郵便物ノ外部ニ規則第十條第一項以外ノ事項(通信文ヲ除ク)ヲ印刷シタルモノハ異種合裝ノ例ニ依リ約束郵便ニ非サル第四種郵便物ト同一ノ取扱ヲ爲ス(一四、九、大阪)

○商品見本ト何等説明等關係ナキ印刷物ヲ合裝シタルモノニシテ重量百匁(三五〇瓦)以内ノモノハ第四種トス(四一、五、神戸)

○足袋又ハ手袋ヲ商品見本トシテ差出ストキ其ノ品質形狀ヲ示スニ必要ナル場合ハ一足ニテモ支ナシ(五、一二、通業五七五九、北海道)

○商品見本ニシテ其ノ物品ノ性質上數個ヲ示ス必要アルモノハ同質同形ノモノ二箇以上差出スモ支ナシ(同)

○商品見本ニ對シテハ其ノ性質上代金引換ノ請求ヲ爲シ得サルモノトス(一五、九、郵業九一六、昭和三、七、各)

○商品見本又ハ雛形ニ表記スヘキ營業名ハ別ニ記載ナキモ會社名、商業、店名等ニ依リ其ノ營業名ヲ知ルニ足ルモノハ便宜有效トス尙商品見本又ハ雛形ノ表記アルモ他ノ要件ヲ缺ク

郵便物種別(第四種)

一二五



郵便物種別(第四種)

一二六

モノハ規則第四條ニ依リ取扱フヘシ(四五、二、通業五六五四、各)

○商品見本ニ無封書狀ヲ合装シタルトキハ無封書狀ト同一ノ取扱ヲ爲シ重量ハ三百五十グラムヲ超過スヘカラス(昭和一〇、九、郵業六六七、廣島)

第五種

○米穀検査所ト検査員間ニ郵送スル玄米ハ第五種トス(四〇、九、通業乙六八一〇、高松)

○養蜂ハ第五種トシテ差出スコトヲ得(四、七、通業二八一三、北海道)

○養蜂ハ臺灣宛ノモノト雖仍ホ第五種トシテ取扱支ナシ(昭和六、一〇、郵業七九〇、名古屋)

○鶏卵ハ第五種トシテ差出スコトヲ得(四、七、通業二八一三、北海道)

○薄荷油ノ如キ加工製品ハ縦シ農産物検査所又ハ同支所ト検査員間ニ發著スル検査品ニ對スル品質見本或ハ検査等級監査等ノ目的ヲ以テ送付スル場合ニ於テモ第五種ニ該當セス(昭和四、一二、郵業一二一三、札幌)

○種麴ヲ通常郵便トシテ差出シタル場合第五種トシテハ取扱得サルモノトス(昭和七、一一、郵業八四〇、名古屋)

郵便物種別(第五種)

一二七



○ 特殊取扱の品は、原則として、輸入税を課税しない。但し、輸入税を課税する品は、輸入税を課税する。

○ 特殊取扱の品は、原則として、消費税を課税しない。但し、消費税を課税する品は、消費税を課税する。

○ 特殊取扱の品は、原則として、関税を課税しない。但し、関税を課税する品は、関税を課税する。

○ 特殊取扱の品は、原則として、附加税を課税しない。但し、附加税を課税する品は、附加税を課税する。

○ 特殊取扱の品は、原則として、地方税を課税しない。但し、地方税を課税する品は、地方税を課税する。

第五節

特殊取扱



B 特殊取扱

書留

○書留、價格表記郵便物ニ無封印又ハ封印不良ノモノアルニ付検査勵行スヘシ(三六、九、通郵乙五七九八、各)

○特殊郵便物乙號引換帳及受領證用紙ヲ公衆ニ交付スル場合ハ常時多數ノ郵便物ヲ差出スモノニ限り相當受授簿ヲ設ケ交付シ漫リニ配付スヘカラス又使用差出ノ際ハ可成炭酸紙ヲ使用セシムル様指示スヘシ(三八、二、各一、四二、一二、通業八二〇四、各一)

○番號票中局名記載方粗雜ノモノアリ夜間及車中取扱上不便ニ付鮮明ニ記載又ハ捺印スヘシ(四四、二、通業七二二、各)

○現物貼付ノ番號票ト引受帳記載ノ番號ト相違セルモノアリ嚴重對照シ重複相違ナキ様注意スヘシ(一一、一、通業二六五、各)

書留



○個人商店宛特殊郵便物受領ニ際シ當該個人商店名ノ印章(仕切判)ヲ使用スルハ支ナシ(昭和四、七、東京)

○二口以上ノ集金郵便ヲ合封シタル書留ニ對シ不用ノ番號票生シタルトキハ棄却スヘシ(六、九、通業四二九八、各遞)

○番號器ヲ使用スルモノハ往々其ノ押捺場所一定セサルカ爲不便不尠ニ付注意アレ(七、二業四一〇、各遞)

○書留通常郵便物引受番號表示方ニ關シ左記ノ通違則ノ取扱ヲ爲ス向尠カラサル趣ニ付規定勵行方注意スヘシ(一〇、一一、郵四〇〇六、各)

一、番號票貼付場所又ハ番號器押捺場所ヲ郵便物ノ表面左下部ニ一定セサルモノ  
二、自局引受自局配達以外ノ書留通常郵便物ニ番號票又ハ番號器ヲ使用セス局名及番號ヲ

筆書スルモノ(特ニ集金郵便ニ依ル證券發送ノ際最モ多シ)  
番號器ヲ使用セサル局ニ於テ左ノ通規定外ノ番號器ヲ使用スルモノ(事業用物品規程別表第一號表第二種郵便用備品中番號器調製仕様參照)

(イ)局名ヲ挿入セサル日本數字ノ番號器ヲ押捺シ其ノ上部ニ別箇ノ局名印ヲ押捺スルモノ

(ロ)局名ヲ挿入セサル亞羅比亞數字ノ番號器ヲ押捺シ其ノ左側ニ別箇ノ局名印ヲ押捺スルモノ

(ハ)局名ヲ挿入セサル日本字又ハ亞羅比亞數字ノ番號器ヲ押捺シ局名印ヲ全然押捺セサルモノ又ハ局名印ニ代フルニ通信日附印ヲ押捺スルモノ



價格表記

- 價格表記ニハ遞信省發行ノ封皮ヲ用キサルモノニモ封緘紙ヲ貼付スルモノトス(三五、三、通郵乙三三六二、各)
- 通貨トハ強制通用力ヲ有スル本邦貨幣及之ト同等ノ本邦兌換銀行券ノ額ヲ意味スルモノトス。追テ在外局ニ於テ引受クルモノニ付テハ在支那局現金受授規程ニ依リ受拂ニ使用スル各種外國貨幣ヲモ尙貨幣トシテ取扱フヘシ(四三、六、上海)
- 無料價格表記ハ便宜表記金額千圓ヲ超過スルモ支ナシ(四四、一〇、通業五八〇〇、各)
- 有價證券カ規則第二條ノ貴重品ニ該當スルヤ否ハ其實體ニ依リ手心ヲ加フルヲ要ス(四、三、通業九二五、東部)
- 通貨ハ絶對ニ價格表記郵便物封皮ニ納ムルヲ要ス從テ納入不能ノモノハ引受ケルコトヲ得ス(四、七、通業二九六六、新潟)



○貨幣、紙幣又ハ兌換銀行券ト雖既ニ通貨ノ要件タル強制通用力ヲ缺キ且通常ノ觀念ニ於テ其ノ要件ノ缺如ヲ認識シ得ル程度ノモノナルニ於テハ郵便規則第二條第一項適用上ニ於テモ之ヲ通貨ト見ス從ツテ左記各號ノ場合ニ於テハ通貨價格表記ト爲スヲ要セス但シ眞贋不明ノモノハ尙通貨價格表記ト爲スヘキモノトス（一四、一二、郵業八〇一、各）

一、内地ニ於テ強制通用力ヲ有セサルモノ但シ名宛地ニ於テ強制通用力ヲ有スルモノハ此ノ限ニ在ラス

二、截斷シタル細片但シ半截シタル兩片ヲ一箇ノ郵便物ニ納メタル場合等ノ如ク其ノ接合等ニ依リ流通シ易キモノハ此ノ限ニ在ラス

三、磨損、汚染又ハ毀傷ノ程度著シクシテ通用シ難キモノ

○郵便物包裝規則第六條ニ依ル價格表記郵便物ノ封印ハ拇印又ハ封緘、締等ノ記載方法ニ依ラス必ス認印其ノ他適宜ノ印類ヲ以テ鮮明ニ封印セシムヘシ（一五、一一、郵業一三〇六、各）

別配達

○他局區内ニ配達スル別配達ノ里程不明ノ場合ハ郵便線路圖等ニ依リ調査スヘシ（三七、四、通庶乙九三七七、金澤）

○受取人ノ請求ニ依ル別配達ハ内國、外國又ハ通常、小包等ニ區別シテ請求アルモ之ニ應シ支ナシ（四〇、四、通業乙二六六二、各）

○自局區内ノ別配達里程不明ノ場合ハ通信地圖ニ依リ調査スヘシ（四〇、五、通業乙三九四九、鹿兒島）

○七十三條適用地宛郵便物ハ別配達ノ請求ニ應スルコトヲ得ス（五、一二、通業五七五九、北海道）



留置

○差出人ハ留置期間ヲ指定スルコトヲ得ス(三九、一二、通業乙一〇六一、仙臺)

○郵便物ノ留置期間中留置局ヲ變更シタルトキハ新ニ期間ヲ計算ス但シ廢止ニ依ル變更ノ場合ハ前後通算スヘキモノトス(三六、六、大阪)

○留置郵便物ノ轉送留置、配達又ハ轉送配達ハ孰レモ便宜請求ニ應スヘシ而シテ郵便物ニハ其ノ旨符箋スヘシ(三七、四、通業甲二三四六、各)







内容證明

○證明料ハ謄本一通ノ枚數ニ依リ計算スヘキ儀ニシテ謄本ノ各通ニ對シテ徵收スル儀ニアラス但差出後ノ證明料ハ謄本各通毎ニ其枚數ニ應シ徵收ス又内容證明ノ原本ニ就テハ字數行數ノ制限ナシ(四三、一一、通業三三三六、各)

○差出後ノ閱覽又ハ證明請求ハ差出人又ハ其ノ繼承人ニアラサル者カ不正ノ目的ノ爲ニ請求スルコト明ナル場合ハ拒絕スヘシ又盜難又ハ遺失ノ届出アリタル受領證ハ正當ノ受領證ト看做サス(四三、一二、通業六五七五、金澤)

○爲替證書及小切手ハ内容證明トシテ引受クルコトヲ得ス(四四、六、通業三五七七、東京)

○内容證明文書ニ記入スル記號ハ一般ニ記號トシテ使用セラルルモノニ限り其判斷ハ取扱者ニ於テ爲スヘシ但之カ料金計算方ハ記號一箇ヲ一字トシテ計算ス又文書ニ貼付セラレタル收入印紙及認印ノ如キハ證明ノ範圍外トシ料金ニ算入セス之カ謄本ヘノ表示方ハ差出人ノ



隨意トスヘシ(三、一二、通業五〇九九、各)

○謄本ニ文字ヲ挿入セシ爲一行二十字ヲ超エ又一枚二十六行ヲ超過スルコトアルモ其ノ一枚ノ總字數カ制限字數即五百二十字以内ナルトキハ其ノ儘一枚トシ右制限字數ヲ超過セルモノハ引受ヲ拒絶スヘシ(同右)

○謄本ニ記載セル括弧ハ上下ヲ以テ一字ニ計算ス(三、一二、通業五八二二、新潟)

○原本ト謄本トト何レカ一方ニ略字又ハ字畫ヲ異ニスル同字(例準ヲ準又ハ准)ヲ記載シタルモノハ引受支ナシ(八、一〇、郵三二八一、名古屋)

○内容證明郵便物ノ謄本ニ對シ挿入、削除ノ外新ニ「訂正」ヲ認メラレタルヲ以テ從來ノ如ク「何字挿入何字削除」ト記載スル外「何字訂正」ト記載スルモ其ノ儘引受支ナシ尙挿入、訂正又ハ削除ノ場合ニ於テ之ヲ施シタル行ノ上部又ハ下部欄外ニ其ノ字數ヲ記載シアル等一見其ノ箇所ノ明瞭ナルトキハ強ヒテ其ノ箇所ヲ記載セシムルヲ要セス(昭和四、八、郵業八五七、各)

○内容證明郵便物ノ封皮ト在裡郵便物ト相違シ受取人ニ到着セル場合(勿論書留番號相違セ

ルモノニシテ封入ノ際甲乙取り違へ封入シタリト認メラルヘキモノ)ハ受取人對差出人相互ニ於テ處理セシムヘキ儀トス(昭和三、四、郵業二〇七、札幌)

○紙數二枚以上ニ亘ルトキ毎葉ノ綴目ニ押捺スヘキ差出人又ハ申請者ノ印ハ必スシモ其ノ文書ノ名義人ノ印章ト同一ナルヲ要セス(二三、一一、郵第三三三七、私人)

○内容證明郵便物ノ内容文書ノ末尾又ハ欄外ニ「大正九年十一月内務省令第四十號代書人規則第十條ニ依ル代書人ノ署名」及「右全文ヲ依托者ニ讀ミ聞カセタリ」ノ如キ記載事項ト雖苟モ原本ニ記載ノ事項ハ如何ナルモノト雖之レヲ證明以外トシテ除外スルコトヲ得ス(昭和四、三、郵業一四八、札幌)

○内容證明郵便物ノ謄本中左記記載ノ如キハ字數及行數カ規定制限ヲ超過セサル限り引受支ナシ追テ行數及字數ノ計算方ハ次ノ通(昭和五、六、郵業五六九、札幌)

「一、左記ノ通計算致候……………(一行、十字)

年月日	金額	保険料	計
5. 6. 1	1,000.00	23.50	23.50

……………(一行、九字)  
……………(一行、二十七字)

内容證明



内容證明

一四四

二、左ノ通計算ス……………(行數合計 三行)  
 年月日 金額 保險料 計……………(一行、八字)  
 ………………(一行、九字)  
 (行數合計 二行)

三、左記ノ通計算ス……………(一行、九字)  
 年月日 金額 保險料 合計……………(一行、九字)  
 ………………(一行、九字)  
 ………………(一行、九字)  
 ………………(一行、九字)

【(行數合計五行)】

○内容證明郵便物ノ内容検査ノ證明又ハ認證謄本ノ閱覽請求ノ場合ニ於テ特殊郵便物受領證  
 ヲ亡失其他ノ事由ニ依リ提出スル途ナキトキハ右ハ正當差出人ノ請求ナルコト明ナル場合

ニ限り便宜應シ支ナシ(昭和八、二、郵業九〇、札幌)

内容證明

一四五



### 代金引換

- 受取人宿所ヲ記載ノ上無集配局留置通知ノ請求アリタル代金引換郵便物ニ對シテハ兩特殊取扱ノ並立ヲ妨ケス（二三、六、郵一七二七、廣島）
- 商品見本ニ對シテハ其ノ性質上代金引換ノ請求ヲ爲シ得サルモノトス（一五一九、郵業九一六、昭和三、七、各）
- 代金引換郵便物引換代金ノ振替拂込ヲ要スルモノニアリテハ代金引換金額十錢未満ノモノハ引受ケ得サル儀トス（昭和七、九、郵業六一一、札幌）
- 振替拂込ヲ要スル郵便物ニ對スル「何番口座拂込」ノ文字ハ其ノ表面看易キ場所ニ明記セシムヘシ（四、二、通業四七二、各）
- 代金引換郵便物到着ノ場合ニ於ケル取扱方ニ關シテハ郵便取扱規程第三百四條及第三百四十三條ニ規定ノ次第アルモ無集配局留置ノ指定アルモノニ對シテハ便宜其ノ到着通知書ヲ



郵便物ト共ニ無集配局ニ送付シ該郵便物ヲ交付シ得サリシ場合ハ無集配局ニ於テ可然處分  
スルコト(昭和四、八、郵業八五七、各)

集金郵便

- 現金受領證ニ收入印紙ノ貼付ヲ要スルヤ否ヤハ引受局ニテ干與セサルモノトス(四四、一〇、通業六三二八、各)
- 小切手ハ裏面ニ受領文ヲ記入スルトモ集金郵便トシテ引受クルコトヲ得ス(四五、四、通業二〇九四、横濱)
- 配當金領收證ハ現金受領證トシテ取扱フ(四五、七、通業四二八一、長野)
- 二名以上ヲ支拂人トシタル集金郵便ハ規則第七十四條ヲ適用シ引受支ナシ(元、八、通業五八五、大阪)
- 受領文以外ノ注意文等記載シタル受領證ハ取扱ハス(二、四、通業八七八、東京)
- 現金受領證ノ内譯書ハ別紙ト爲シタル場合ト雖尙證書ノ一部トシテ引受ケ支ナシ(二、四、熊本)



○受領文以外ノ事項ト雖「本證ハ取扱人ノ記名調印ナキモノハ無効云々」「本證中文字ヲ塗抹シタルモノハ云々」ノ記載ハ支ナシ(二、六、通業二九三六、大阪、三、二、通業七二九、北海道)

○一旦支拂拒絶ニ依リ返戻シタル現金受領證ヲ再ヒ委託スルハ支ナシ但押捺アル日附印ヲ抹消スヘシ(二、一二、通業五八八六、私人)

○貨物引換證及船荷證券ハ商法又ハ鐵道運輸規程ニ依ルモノニ限ル(三、九、札幌)

○一口トシテ委託シタル數通ノ證券ニ對シ日ヲ異ニシテ分割支拂ヲ申出ツルモ應スル限ニ在ラス(五、三、通業一二六八、西部)

○取立期日ノ指定アルモノハ該期日ヨリ遞送日數ヲ除キ早クモ十日以後遅クモ三日以前ノ委託ニアラサレハ引受ニ應セサルモノトス(六、六、通業三二一八、北海道)

○左ノ如キ注意事項ヲ記載シタル保險料受取證ハ集金郵便トシテ引受ケ得サルモノトス(九、一、廣島)  
(左記)

注意  
一、猶證期間(明給三十四年二月二十日以前契約ノ分ニ在リテハ四ヶ月、其ノ以後ノ分ハ六十日トス)經過後ノ拂込ハ本店ノ承認ヲ得ルニアラサレハ無効トス  
一月、三月、半年若ハ年掛ニ隔ナク保險料ハ必ス各拂込期日迄ニ前金ニテ拂込ムヘキモノトス

○左記例示ノ如キ事項ハ規則第五十三條ノ二ノ範圍外トス(一一、四、郵一一七八、各)  
追テ第一號第五號、乃至第八號第十號及第十一號ノ事項ハ孰レモ會社等カ之ヲ記載セル現金受領證用紙ヲ其ノ株主等ニ送付スルコトニ依リテ併テ通信ノ目的ヲ達セムトスルモノニ付引受上注意アレ(一二三、一〇、郵二九四八、各)

一、金額御氏名ハ明瞭ニ御記入ノ上豫テ本社へ御届ノ印鑑ト同一ノモノヲ御押捺被下度候  
二、  
三、  
三、削除

四、此ノ證ハ後日ノ證據トシテ大切ニ御保存有之度候  
五、配當金支拂場所  
自何月何日 東京市何區何町何番地  
至何月何日 何々銀行

何月何日以後何々株式會社



- 六、削除
- 七、送金方御申出ノ節ハ其費用差引可申候
- 八、郵便振替貯金希望ノ方ハ拂込用紙ニ口座番號記入御送付被下度候
- 九、土地證券ニ本證ヲ添へ拂込ノ記入ヲ受ケラレタシ
- 十、此ノ配當金ハ所當税法ニ依リ百分ノ七・五ヲ支拂ノ際控除スヘキモノトス
- 十一、右金額ニ厘位ヲ生シタル場合ハ切捨ノコト
- 十二、向後可成前金（毎號金何圓何錢）御拂込願上候

○集金郵便ノ引受及之カ取立ヲ爲ササル期間ノ周知方可然取計ト共ニ取扱上左記事項等注意スヘシ（一二、一二、郵六九六七、各）

- 一、十二月二十五日ヨリ翌年一月三日迄ノ間ニ於テ集金郵便ノ委託ヲ爲サムトスル者アルトキハ事情ヲ懇示シ引受ケサルコト
- 二、一月一日ヨリ一月七日迄ハ集金郵便ノ取立ヲ爲ササルニ付一定ノ期日ニ取立ツヘキモノニシテ同期間内ノ日ヲ指定セルモノハ事情ヲ懇示シ引受サルコト
- 三、集金郵便ノ取立ヲ爲ササルハ期間之ヲ取立期間ニ算入セサル儀ニ付該期間算定上特ニ注意スルコト

○取立金參圓ノモノニ對シテハ一部取立ノ扱ヲ爲サス（一三、六、郵五二六、私人）

○保険料領收證書ニ郵便規則第五十三條ノ二ニ依ル現金取立事由及證書ノ效力ニ關スル事項以外ノ事項ヲ附記シタルモノハ集金郵便トシテ委託スルヲ得ス（一四、七郵業二六八、私人）

○現業局ニ於ケル處務上ノ都合ニ依リ到著集金郵便ノ取扱ヲ總テ爲替貯金事務擔當者（夜間ハ宿直ス）ヲシテナサシメ且爲替貯金用ノ日附印ヲ使用セシムルモ支ナシ（昭和二、五、郵業四二六、仙臺）

○郵便規則ニ依ル集金郵便ノ委託者氏名ト其ノ委託サルヘキ現金受領證面記載ノ受領者氏名トハ符合セサルモ引受支ナキ儀トス  
 追テ本件ノ場合郵便取扱規程第三百十條ニ依ル照會ヲ要セサルモノトス（昭和二、八、郵業六六六、各）



切手別納郵便

- 數人發ノ郵便物ヲ取纏メタルモノハ假令他ノ要件ヲ具備スルモ切手別納郵便トナスヲ得ス  
(一一一、一一、郵六八〇七、大阪)
- 切手別納郵便物ニ規定以外ノ印章ヲ押捺スヘカラス(一三、八、郵二四二三、各)



約束郵便

- 條件ヲ缺キタルモノト雖承認ヲ取消ス迄ハ尙料金低減ノモノトシテ取扱フ(四五、三、通業一八八九、大阪)
- 規則二十四條ノ一ノ適用ヲ受クル印刷物ノ見本(實例各種講義録ノ見本及學則等ヲ臨時ニ刊行シタルモノ)ニシテ繼續刊行物(即チ講義録)ト同一ノ名稱又ハ題號ヲ冠シ逐號又ハ臨時増刊トシテ發行セルモノハ繼續刊行物トシテ取扱フ(六、七、通業三四二二、東部)
- 約束郵便物ニ規定以外ノ印章ヲ押捺スヘカラス(一三、八、郵二四二三、各)
- 約束郵便料金ノ徴收ニ付テハ納入告知書ノ發行ヲ誤リ過少ニ徴收シタル場合ハ勿論全然之レカ徴收手續ヲ洩ラシタル場合ニ於テモ郵便法第二十六條ノ期間内ハ尙正當料金ヲ徴收スヘキ儀トス(昭和四、六、郵業三九六、各)
- 郵便規則第二十四條ノ一ニ依ル印刷物ニシテ一月發行ノモノヲ三月ニ發送スル場合ニ於テハ尙約束郵便トシテ低料郵送ヲ認ムルモ承認規則第七條適用上ハ差出休止トシテ處理ス尙



約束郵便

一五八

○發行ノ月以前ニ差出スモノハ印刷納本ノ月ヲ以テ發行ノ月ト看做ス（一四、六、郵業一、私人）

○約束郵便物帯紙面宛所ヲ縦書セサル向多數アル趣ニ付差出人ヲシテ郵便規則第六十四條ノ五ノ規定ヲ勵行セシムル様注意相成度（二、八、郵業八〇五、各遞）

○低料約束郵便物ニ私製葉書ヲ綴込ミタルモノハ當該印刷物ノ内容ノ一部ヲ爲スモノトシテ取扱支ナシ（昭和六、三、郵業一九九、東京）

市内特別郵便

市内特別郵便

○市内特別中内容ノ異ナリタルモノ發見ノ場合ハ、差立、配達前ノモノハ全部還付シ（差立、配達後ノモノハ其儘ニテヨシ）料金ハ引受總數ニ對スル一般料ノ二倍額ヨリ既納額ヲ差引徴收ス引受ノ際發見ノモノハ其儘拒絶スヘシ（四二、一〇、熊本）

○市内特別同文書狀ハ金額氏名等ヲ異ニスルモ便宜同文トシテ取扱フ（四二、一二、通業八一七二、東京四三一、大阪）

○第三種ヲ第四種トシテ市内特別取扱方請求スルモノアルトキハ第四種トシテ引受支ナシ（四三、二、通業八一〇九、京都）

○郵便頼信ニ依ル市内特別ハ其ノ引受ニ應セサルモノトス（六、八、通業四三三二一、各）

市内特別郵便

一五九



速達郵便

○速達取扱開始ニ付左記了知スヘシ(四四、二、通業八八〇、東京、横濱、四五、三、通業一五六五、大阪、神戸)

- 一、約束、市内特別及年賀特別並ニ集金郵便ハ速達ト爲スコトヲ得ス
- 一、無料郵便物ハ可成速達トセサルコト
- 一、返信郵便物ハ差出人ノ指定シタル種類、料金ト符合セサルモ差支ナシ
- 一、速達ノ效力ヲ失ヒタル返信料前納郵便物配達ノ際ハ之ニ對スル返信ノ差出方依託ニ應セサルコト

○速達取扱地域外宛郵便物發見ノトキハ左記ニ依リ取扱アレ(五、七、通業二九〇二、西部)

- 一、引受局ニ於テ差立前發見セルトキハ便宜差出人ニ還付シ郵便局ノ過誤ニ依リ窓口ニ於テ引受ケタルモノハ其ノ既納料金金額還付ス
- 二、差立後ニ於テ發見ノ場合ハ速達規則第十一條ニ依リ取扱フコト但シ窓口引受ノモノニ

速達郵便



速達郵便

一六二

シテ其ノ引受カ郵便局ノ過誤ニ基因スル場合ハ速達取扱料金ヲ還付スルコト

○速達郵便物配達ノ際受取人不在ナルモ郵便受函ノ設備アリ猶配達シ得ル場合ハ一般郵便物ト同様配達スヘキモノニシテ斯ル場合直ニ其ノ效力ヲ失フモノニアラス(昭和一〇、五、郵業四一三、東京)

航空郵便

○今般省令第八號及公達第三百十七號ヲ以テ航空郵便規則及航空郵便取扱規程制定セラレ右ハ從來試験的施設ニ過キサリシ航空機ニ依ル郵便物ノ遞送ヲ制度トシテ茲ニ確立セラレタル儀ニ付關係規定熟讀研鑽ノ上運用上違算ナキヲ期セラレ度尙左ニ注意事項ヲ摘記ス(昭和四、三、郵業二〇八、各)

記

引受ニ關スル事項

- 一、航空郵便ノ取扱地域ニハ制限ヲ設ケラレサルニ付全国各地ヨリ差出シ得ルコト
- 二、樺太及南洋群島ニ達スル郵便物ハ内地區間航空取扱ト爲シ得ルコト假ヘハ九州ヨリ樺太、南洋群島ニ達スルモノノ如キハ福岡東京間航空路ニヨリ遞送シ爾余ハ通常ノ方法ニ依リ遞送セララルコト
- 三、消滅
- 四、消滅
- 五、一般郵便函ヨリ取集ノ郵便物ニシテ「航空」ノ文字ナキモ相當料金ノ納付アリ明ニ航空郵便

航空郵便

一六三